京城日報
十六日夕刊

◎支那宣戰と林公使
林駐支公使は支那對獨墺宣戰の通告を受くるや聯合國に加入せるを祝し一層鞏固なる聯合を造るべく馮大總統に挨拶を爲せり（北京特電）

◎墺公使旅券交附別報
駐支墺國公使は十四日退去の旅券を交附されたり（北京特電）

◎支那對獨宣戰全文
十四日大總統布告を以て左の如く國內に宣戰を發布せり（某筋著電）
我中華民國政府は曩に獨逸が潛航艇作戰を施行し國際公法に違背して中立國民の生命財產に危害を及ぼせしを以て本年二月九日獨逸政府に向ひ抗議を提出し且つ萬一抗議無効に了れば止むを得ず外交關係を斷絕す可しと聲明したり。然るに抗議後其の潛水艇作戰は毫も變更せず中立國の船舶交戰國の商船（二字電文不明）悉に擊沈せらるゝもの日に其の數を增し我國民の害を蒙りたるもの亦甚し。我政府は之を以て抗議無效と見做さゞる能はず痛を忍び易を偷まむと欲するも維義を尙び恥を知る國人に對する所以に非ざるのみならず又將に仁に膺つて讓らざる與國に謝すること能はず。中外共に憤り全國の與論亦此に一致す。茲に於て三月十四日獨逸政府に向ひ外交關係を斷絕することを宣告し並に事變に及べる經過を中外に宣布せり
我中華民國の希望する所は平和、尊重する所は公法、保護する所は我本國人民の生命財產にして始めより獨逸に仇あるに非ず、獨逸政府が禍を悔ゆるの心あり公憤を恐れ其の戰略を改むることは實に我政府の希望する所にして俄に敵と見做すに忍びざりしなり。然るに絕交以後五箇月を經過したるも潛水艇の攻擊は依然として變更せず獨り獨逸のみならず獨逸と同一政策を執れる墺國亦始終其の態度を更めず。既に公法に背き又我國人民を傷害す。我政府の（四字電文不明）は爰に至りて遂に絕望と爲れり。茲に中華民國六年八月十四日午前十時より獨墺兩國に對し戰爭の地位に立ちしことを宣告し從來我國と獨墺兩國との間に締結したる條約及其の他の國際條約國の協議にして中獨中墺間の關係に屬するものは總て國際公法及慣行に依りて一切廢止す我中華民國政府は尙海牙平和會議の條約及其の他國際協約にして戰時文明行動に關する條項を遵守し敢て違ふことなし。宣戰の趣旨は戰禍を阻止し平和を促進するに在り我國民は宜しく此の意を諒る可し。今や內亂漸く平ぎたるも傷痍未だ癒へざるに方り不幸此の際端あるに遭遇す。本大總統は民意を顧念し曷ぞ苦怨の情に堪へむや、萬止むを得ざるに非ざれば決して此の擧に出でず。公法の尊嚴は自ら之を破る能はず國際の地位自ら之を棄つる能はず。更に世界友邦の平和克復に對しては躊躇する能はず願くば擧國奮勵し共に艱難に膺り我中華民國の爲に此の悠久無窮の國名を保ちて益々之を發揚し以て國際團體の內に立ちて共に其の樂利を享けん諭告して遐近皆聞知せしむ
茲に令す

◎羅馬法王調停か
羅馬法王は各交戰國及び中立國に通牒を發して講和の必要を訴へ且つ各交戰國に對して豫め意思の疏通に便ならしめんが爲め具體的の講和條件を申出でんことを求めたり（羅馬電報）

▲同上別報 羅馬法王ベネヂクト十五世は交戰各國に對し夫れ〲通牒を發して講和條件提出を求め同時に中立各國に講和に關する意嚮を徵せり（倫敦電報）

◎西班牙形勢重大
全國に戒嚴令布かる
（マドリッド來電）全國に亙りて戒嚴令布かれたり同盟罷業革命的傾向を帶びたる一般運動の性質を表はし來り政府は萬一の變に備ふる爲め豫備兵の召集を行へり（倫敦電報）

◉海軍技術員增置
十六日勅令を以て造船、造機、造兵並びに土木建築に從事せしむる爲め海軍技術官、技師、技手百五十二名を增設する旨公布されたり（東京特電）

◉東淸庶務課長
東淸鐵道會社庶務課長（庶務課長か）ギンツェー氏は十五日午後入港關釜連絡船壹岐丸にて釜山上陸同夜十時三十分發滿鮮急行列車にて北行せり（釜山特電）

◉總督邸午餐會
長谷川總督は十七日零時三十分より滿鐵理事長國澤新兵衞氏、法學博士牧野英一兩氏を主賓とし山縣政務總監、人見鐵道局長以下鐵道關係の主なる人々を官邸に招き午餐會を開くことゝなれり

◉鑛業出願件高
七月中に於ける鑛業新規出願件數を聞くに內地人四百十九件、朝鮮人二百五十六件、計六百七十五件にして其の內處分濟となれるもの內地人百七十九件、朝鮮人九十件、計二百六十九件なり而して之が鑛種は黑鉛を最多とし鐵鑛之に次ぎ銅鑛、金銀鑛、金鑛等相順位せり因に同月中に於ける新規出願其の他の屆出に對する手數料收入は合計六萬七千五百圓なり

◉鑛業登錄件數
七月中の鑛業登錄件數は申請數二百二十一件にして其の內不受理九十七件を除ける以外は全部登錄濟となり此の手數料額一萬六千四百七十八圓を算せるも之を前月に比すれば一千圓內外を減少せり

◉露國國境封鎖 解禁は何日よりか
露國の國境出入旅客の禁止は八月十五日を以て滿了し十六日より一般の出入に特種の制限を撤廢すべき筈なるが元來其の國境封鎖の主要目的は國內に於ける獨探の掃蕩にありと稱されつゝあるに付果して二十日內外の短時日を以て能く獨探狩りをなし得たるや否や疑はしく滿洲經由歸國せし矢野大使館書記官も其の延期說を傳へ又最近の情報は露分封鎖の延長を報じ居れるが京城露國領事館には未だ何等の通報なき由にて露國に向はんとする旅客は大に迷ひつゝあり

◉歐露電報遲著
最近歐露方面よりの電報に遲延するもの多くこれが事由を當局者に聞くに七月二十七日頃歐露より發せられたる電報又は七月三十一日頃露都、露西亞發電のものは漸く十五日を以て到著し始めたるの狀態にして之が遲著の原因に就ては當局者も種々調査中なるも未だ分明せずとの事也

◉辭令 十五日附を以て左の通り辭令ありたり

陸軍一等軍醫正 千葉叔則
任朝鮮總督府醫院醫官 敍高等官六等四級俸下賜

陸軍步兵中尉 小林巖
同 佐々木格太郎
同 西尾庇衞
同 前川淸
同 高橋庄一
同 柏木仁毅
同 青木貞一
任朝鮮總督府警視（各通）

◉新村隧道貫通 京釜線改良工事區間中金泉、秋風嶺間新村隧道（千四十二呎）は十五日午後全く貫通せりと

◉害虫發生頻々
京畿道高陽郡內一圓に亙りて夜盜蟲發生し陸稻、粟、黍、蜀黍等の被害少からず其の面積百十五町步に達し又た黃海道殷栗郡管內にも一部に同蟲發生して粟、蜀黍の被害あり其の面積十三町步と報せらる、而して兩道とも道廳に於ては發生と同時に耕作者をして郡面吏員の監督並に警務官憲等の援助下に捕殺驅除に努めつゝありと

◉京氣と稻作
數日來朝に著しく涼氣を感ずるに至り八月中旬の氣候としては或は稻作に對し不祥ならずやと疑はれざるに非ざるが之れを農務當局に訊すに昨今位の涼氣は敢て憂とするに足らず尤も日中の日射著しく薄弱なれば必ずしも樂觀し難けれど頃月來の氣溫を維持すれば殆んど差支なし殊に夜中の涼氣は虫害發生を防ぐ効果ありと語れり

◉杉檢查官管理局訪問
在鮮各官廳の會計經理狀況檢査の爲め渡鮮したる杉會計檢查官は十二日滿洲地方より入京し滯在中なるが十六日午前九時龍山京城管理局に至り國澤經理課長等と會同し併業後の經理事務其他に就き聽取する所ありたり

◉ギンツェ氏通過
要務を帶びて內地に出張中なりし東淸鐵道哈爾賓支社運輸部長ギンツェ氏は十五日朝釜山上陸同夜南大門驛通過北行したり

◉若堂詩伯入京
東都詩壇の雄將若堂詩伯は北支滿洲遊歷中の處十六日朝南大門驛著列車にて入京一先づ大坂丈夫氏宅に行李を解けり

◉鮮銀海外派遣員更迭
朝鮮銀行の露部派遣員は今回交代する事となり本店營業局副事股野貫之氏は露國封鎖解け次第赴任する事に內定せしが同氏著任の上現露都駐在の堤嘉三氏は歸朝する由又紐育派遣員佐藤得四郎氏は後任安田弘氏到著せし九月迄に歸朝する事となるべく英國に出張せし東京支店長吉田孟太郎氏も八月末倫敦發の便船にて日本に歸航すべし

◎東拓の滿洲機關 大連奉天の二地に決定
東洋拓殖會社の滿洲に於ける機關は屢報の如く十月一日より開業する事に確定し居れるが其の支店の位置は最近の重役會議にて奉天及び大連の二地に設くる事に決定し自餘の各地に於ける支店若くは出張所は滿洲に於ける業務開始以來土地の狀況に顧慮し之れを定むる筈なり尙ほ同社にては九月に入らば直ちに社員を奉天大連の兩地に派し開業準備をなさしむべしと

◉東拓總會延期
東洋拓殖會社にては法律の改正に伴ひ定款の改正をなしたるに付該改正定款附議のため九月上旬臨時株主總會を東京に開會する筈なりしも各種の關係上其の開期を九月下旬に延引する事となりたり

◉化工博と運賃割引
九月より東京に於て開會せらるゝ化學工業博覽會の出品物に對し鐵道院に於て下の通り運賃の割引をなす事に決定し京釜局線にても其の取扱をなす事となりしが割引區間は釜山と潮溜、飯田町又は秋葉原相互間にて割引數は普通運賃の二割但し航路運賃の割引は之れをなさず

◉露貨稍見直す 長春哈爾賓
方面に於ける露貨相場はともすれば人氣に支配さるゝ傾きあるが最近の相場は百圓に對し二百七十留にして一時に比し約二十留方見直したり

◉武內元參事補辭職
元朝鮮鐵道局參事補たりし滿鐵京城管理局職員武內三省氏は家事上の都合により今回依願免職となりたるが近日中內地に歸還すべしと

◉牧野博士招待會
法政大學校友會朝鮮支部にては目下入京中の法學博士牧野英一氏を十六日午後七時京城ホテルに招待し歡迎宴を催す

◉志賀氏講演
十七日午後入京の早大教授志賀重昂氏は入京直にファミリーホテルに於ける早大校友及び札幌農大出身の有志者等の歡迎會に臨み午後七時半より朝鮮銀行にて講演ある筈

◉鮮銀券發行高
八月五日より十一日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は四千二百七十六萬八千九十四圓にして發行高漸增の姿なり

◉間島物價暴騰
間島日本領事館より其筋へ達したる報告によれば間島龍井村地方に於ける日用雜貨は頃日甚しく昂騰し本年七月末日現在物價を昨年七月末に比較するときは特等米一斗に付四十五錢、酒、醬油、味噌等は各一割方、麥酒、淸涼飲料等は二割乃至三割其他の日用雜貨は一、二割の昂騰を示し粗布、

◎獨逸兵營守備嚴重
張勳氏の潛匿せる在北京獨逸兵營は支那對獨宣戰の結果守備一層の嚴重を加へ來れり（北京電報）

◎駐墺支那公使引揚
駐墺支那公使に對し引揚げ命令を發したり同公使は瑞西を經て佛國に出づ可し墺國在留支那人は約一百名なり（北京電報）

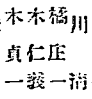
◎在支軍艦武裝復舊
上海其他支那各港にて武裝解除中なりし日英米各國軍艦は支那參戰の結果武裝復舊を講じつゝあり（上海電報）

◉兩將軍通過
軍事參議官秋山、下關要塞司令官白水中將の兩將軍は十五日午後零時三十分發列車にて大田通過東上の途に上れり停車場には富塚步兵第七十七聯隊長以下の陸軍將校、在鄉軍人、地方重なる官民、愛國婦人會員等多數の見送りありたり（大田）

【地方】鳥致院
▲秋山白水兩將軍通過 秋山新軍事參議官、白水新下之關要塞司令官は豫定の如く十五日午前十一時半通過南行せり▲張忠北道長官出張 張忠北道長官は屬官一名を隨へ十五日午前十一時半發南行列車にて秋山將軍一行を送り歸途去る十一日の大出水にて被害最も大なりし沃川地方を視察する筈▲分遣所員異動 本年四月全義派遣所閉鎖の結果鳥致院分遣所詰となりし伍長中野善吉氏は十三日附軍曹に昇進し公州派遣所長に榮轉の旨發表せられたるが數日內に赴任の筈又中野氏の後任者としては溫泉里分遣所員森口伍長近々著任を見るべし

【地方】群山
▲商議新築 群山商業會議所新築委員會は十三日午後二時より會議所に於て開催したるが出席委員橫山與市、齋藤謙哉、楠田義達、西村又三郎、小林寅造、會頭大澤藤十郎氏等にして愼重の結果來る二十二日愈々新築工事の請負入札に附する事となりたるが九月一日起工十月末日迄には竣工の豫定なりと▲海水浴場 群山近海所在古群島の海水浴場は好適なるは我京城日報紙上に一昨年の初夏各地避暑地案內として連日に亙り紹介したるは讀者は記憶せらるべく愈々本年は群山水產學校長桑島謙三郎氏、朝鮮水產組合全北支部長井上弘氏等の斡旋に依り郵便、浴場、宿泊等の設備並びに本月五日より開始したるが遠近より避暑客頗る多く盛況を呈し居れり▲陸上水泳場 我京城日報群山支局は同業全北日日新聞支社と協同主催の創案に係る陸上安全兒童水泳練習場は十一日より開始したるに水泳教授を受くる者數十名其他自由游泳兒童を合し毎日百數十名に上り頗る盛況を極め居れり

【地方】晉州
▲南江橋流失 大降雨の爲め南江增水五尺餘に及び南江舟橋遂に流失せり農作物には何等被害なき由▲崔警視出發 當地警察署より平安北道警務部附に榮轉せる崔警視は家族同伴任地に向け出發せり▲庶務主任會議終了 本道廳會議室にて開催中なりし庶務主任會議は十二日を以て終了し夫れ〲歸任せり尙ほ別報の如く面制施行に就て佐々木道長官より訓示ありたり



統營より
五道視察旅行者 李光洙

◇加藤署長の好意にて、警備船第二號にて閑山島に向ふ。名將李舜臣の功績を語れる制勝堂を見んとてなり。風穩かに波靜かなり。鬼の如く可愛き警備船は、辷るが如く碧波の上を走ること約四十分。瓶の口の如き水門を入れば、腹の膨れたる花瓶の形をなせる小灣あり。灣の南端にして瓶の底に當る所、雜木茂れる圓錐狀の岬が制勝堂のある處にて候。端艇を漕いで絕壁の下に着け、樵道を攀ぢて仆傾ける制勝堂に入る。長く修繕の手を絕ちて壁は崩れ丹青は剝がる。堂を守れる老翁出で來りて蓆を薦め、問ふが儘に種々と語り出で候。

◇此の灣內は文祿の役に日本水軍の全滅したる處なり。李忠武公日本の水軍を此の灣內に誘引し、意氣の揚り解甲島に上りて甲を脫ぎしと云ふ灣內に入れる數萬の日本軍は、戰ふに力盡き逃るに道を絕たれて、悉く魚腹に葬らる、灣の西方チヤラモキ（すつぽんのくびの義）は、日本軍が血路を得んとしたる最後の努力の跡なり、灣內にて死せる兩軍の士卒は怨靈となりて今尙此處を去らず、今日と云ども夏雨そぼふる夜中等には水面上に鬼火點ると見はれ、啾々たる鬼哭の聲啁啾、甚だしくは、判然と名乘りを擧げて、哀れなる聲にて飲食物を求むることあり「おい中書房、空腹で堪らぬわい、何か食物を」と生けるが如く繰返す、中書房は堂を守護せる老翁なり、斯かる時には白飯と若布の御つゆとを振り撒く等と、如何にも眞面目なる顏付と口調にて、熱心に語る所可笑しくもあれども又感慨深し。

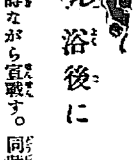
◇李舜臣以來每年一回、兩軍の士卒を祭る、矢張白飯と若布汁とを混ぜて海面に撒布す、制勝堂の左方は日本軍にして右方は朝鮮人なり、若し之を忘れば必ず暴風起り激浪起る、其は恐しき極みなりと老翁は肩をすぼめ候。

◇茂れる青葉の蔭より蜩の鳴くも悲しや、豈夫是れ百年前の怨靈の念にはあらざるべけれども、多情なる遊子の暗淚を催し候。

◇堂の後方數十步の處に「有明朝鮮國水軍都督李舜臣」なる石碑あり、成程木浦より釜山迄數百里の海岸線を守護し得たる李舜臣は、東洋のネルソンと云はる丈偉い御方にて候。李公が造りしと云ふ龜形の鐵甲船が其の猛威を揮ひしことを想像しつゝ本船に返れば、仁王そつくりの巡査部長は怖き眼に優しき微笑を湛へつゝ面白かりしやと問ふ、さなりと答へしのみにて候。

◇統營に歸りて伽倻美人の伽倻琴を聽き、夕陽西山に掛れる頃茂れる竹林中に忠烈祠を訪ふ、李舜臣を祭れる祠なり、階下に數株の碧梧桐あり風もなきにぼたり〱と巽丸き實を落す、其の音を聞ゆる程境內は森として、そゞろに慄然たるを覺え候。堂內に入りて位牌を拜し、出でて皇明の賜なる銅印、令旗、鬼刀、斬刀の如き古物を見る、銅印の外は模造品なる由にて候。石碑を見るべく廻廊に出づれば糞臭紛々たり、其筋にても少し守護を嚴にして欲しきものに候。

◇統營の客舍たりし洗兵館は、慶南有數の建築物なる由なるが、其の結構の宏壯なるは位置の高きと共に莊嚴の感じを與へ候。洗兵館の後方は圓錐形の山にて美しき松林にて覆はる。試に其の中に逍遙せば、淸風面を拂ひ眼前に浴りたる綠波を見る。確かに統營の名所たるを失はず、否勾配の餘りに急なる欠點あれども寧ろ統營の諸景中の最と申すべく存候。末筆ながら兪郡守、寺澤庶務主任及び加藤署長の厚き御厚意に感謝を表し申候。匆々不一（八月三日夜）



浴後に

○支那も遲蒔ながら宣戰す。同時に九百萬元に値する獨船を、天津、漢口の獨租界を其儘失敬すさ。之れを宣戰成金と稱す、否か。蓋し獨逸に對しては、遠雷の威、無きに非ざる也。

○今夏內地には、登山熱大流行、深山幽谷を跋涉する者多く、從て不慮の災難に遭遇するもの多し。之れ勸誘して敎へざるが爲のみ。登山を勸誘するよりは、寧ろ敎へよ。

○學校醫は最も善良なる醫師ならざるべからず、然ども動もすれば、斯界の落後者、不流行の鈍醫を以て間に合すあり。島根縣下にて、兒童に淋毒を塗り、失明せしめたるも、其の一實例也、可恐。考へざるべからず。

長白山彙を跋渉して(四)

▽『熊だ〈〈!!』みんな逃げた△

◇『大屏風』の根◇成金の鍵◇天晴れキャア成金◇

『キャア、ピョン、ブン!!』いかにも人を莫迦にしたやうな名稱であるが、これがわたしの成金となつた

◆高山植物の　一つであるから致方がない。『キャア、ピョン、ブン』は內地の蕗に似た『大屏風』と稱する草の朝鮮語である。しかし郡所が郡所だけに『大屏風』の支那語と云つたところで誰れも抗議を申し込む者はあるまい。綾人氏の鶯谷山右衛門は茲に『キャア、ピョン、ブン成金』の鍵鑰を握つた。綾様は確かに山右衛門の努力に對してあり餘る程の報酬を賜はつたのである。

◆わたくし―斯く申す山右衛門は―白頭山密林中のおやぢの家で二三日の滯在中いよ〈〈『キャア、ピョン、ブン』の寶庫をつきとめた。おやぢの世話で、手傳に來た二人の鮮人は、今わたしと共に白頭山麓の小高き傾斜面に起つて居る。ヤア!!あるは〈〈!!其處ら中一面はどちらを見ても『キャア、ピョン、ブン』だらけである。その

◆雨傘のやう　にひろがつた靑い葉は直徑二三尺のものもあつて、上には白頭山の萬年雪ともまがう眞ツ白の花が咲いてゐる。人間氣の離れた此の山にまあ何たる氣高き姿であらう。さすがに無風流な山右衛門も、暫しはボンヤリして手の下しやうもなかつた。試みに其の莖を採つて見ると、固い莖の表面には針のやうな細毛があれど、皮をむいて喰べると少し酸味があつて

◆アスパラガス　のやうなものであつた。わたしの採集するものは其の根であるが、それを敲いて水にさらすと澱粉が出來る。根は甘藷のやうに匍匐莖になつてゐて、中には確かに十七八年を經たと思はれるものも尠なからずあつた。わたしは今、其の根を掘り採つて園藝家に賣らうといふのである。元來此の種類を發見した人は英國人の

◆ゼームス君　で、君は今から卅年ばかり以前白頭山を探險して英國キューの植物園に此の花を贈つたことがある。其の後露、獨の學者も研究してこれを『ヤダルマサウ屬』としてゐるが、現に朝鮮植物の權威中井猛之進博士なども其の意見であるらしい。わたし共三人は、今熱心に掘てゐる。七月のあつい日光は頭を擡げるとカン〈〈照りつけるけれども蹲踞れば互な支葉に遮られて頗る涼しい。三人は一生懸命に掘つた。『成金々々』と掘つた。すると突然、思ひがけぬ事件が起つた。それはわたしが聞くともなく聞くと

◆突如メリ〈〈〈〈と樹を折るやうな音がする。頭を擡げてあたりを見廻しても太古のまゝの此の深山には、更に物の蔭さへ見えぬ。また暫くするとメリ〈〈〈!!變だな、と思つてよく見ると、驚くまい事か、纔か六七間の鼻先に大きな熊が樹を折つてゐた。二人の鮮人は『熊だ〈〈!!』といひながら鍬を捨てゝ逃げ出した私も一散目に逃げ出した。熊も驚いて逃げ出した。みんな吃驚して逃げ出した譯である。(山右衛門)

■獻上煙草

總督府にては畏き邊りの思召を奉じ第四回御料煙草を獻上す可く過般諸般の準備に着手せしは本紙既報の通りなりしが其の後專賣課にて數種の試製品を製し長谷川總督の歸任を俟つて批評を求めし結果忠州黄色葉を主とし之に朝鮮產土耳古、內地種兩葉を加味せるものを原料として謹製するに決し既に岡田技師以下技術員一同中樞院內なる專賣課分室に引籠り其の下準備中なり、今回の獻上本數は一千本にて紙巻口付紙形煙草と爲す可く本月末迄に一切の仕上を了へ九月匆々同課員携帶東上の筈也

山海嘯に襲れたる漣川

被害の慘狀實に目も當られず

京元線漣川は邑內南方にて車灘川と無名川の合流點にて去る十三日午前三時頃無名川上流山嶽の崩壞と共に車灘川又增水甚だしく殆ど邑內の全部に浸水し未曾有の慘狀を呈したり此の慘憺たる水害狀況視察を爲すべく十五日午後一時二十分南大門發同地に向ふ。金谷驛以北は水田畑地等濁水氾濫の痕を見る

□臨津江の上流　なる車灘川鐵橋前の線路水害に崩壞したる爲め僅かに通じたるのみにて列車徐行し漣川郵便局長一家族が家と共に橋脚に懸りて僅かに救はれたりといふ車灘川の鐵橋を渡る、水は淸みたれど洪水の餘怒猶激し、河の上流なる山岳に無數の崩壞したる新らしき川流狀痕跡あり午後四時漣川驛着直ちに憲兵隊分遣所を訪ひ水害の大要を聞く寺師伍長の語る所に由れば去る九日頃より時々小雨あり十一日午後一時半頃より豪雨となり夜に及びて雷鳴降雨愈々烈しく十二日午前三時頃水勢刻々に激しくなりしを以て巡視せるに此の時既に市街の南半には河水

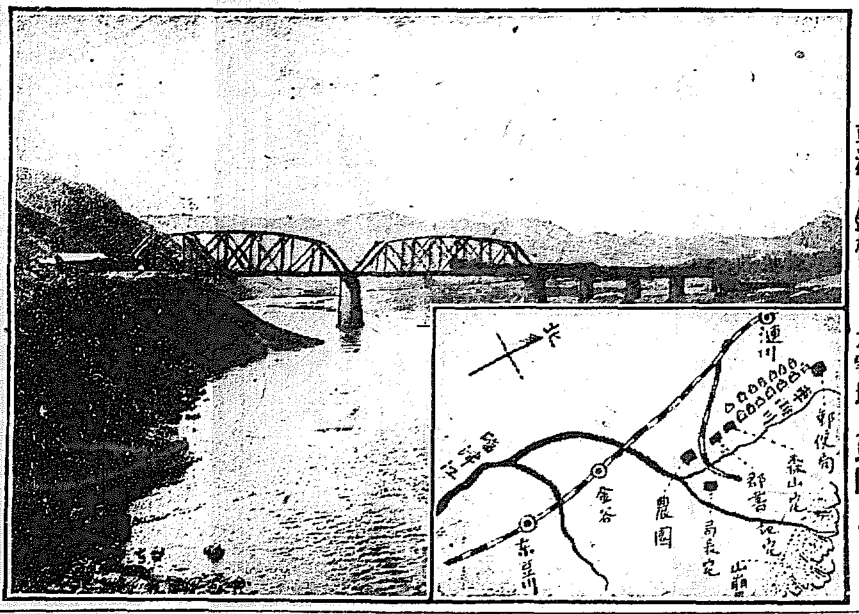
□滔々と氾濫し　人家何れも船の如く家屋丈けを水上に現はし居たり水勢激しくして泳ぐべからずされど河水の氾濫せる部分は內地人官吏の住家多き處なれば如何にもして其の安否を確めんと急ぎ引返へし鮮人よりバスケ取の引込線路を傳ひて近寄らんとせしも此時既に水は驛近くまで押寄せたれば此の方面よりも亦近寄るべからず依つて筏を急造して救助に向はんとしたるも此の時少しく減水し爲めに水勢猛烈にして到底筏を以て意の如く人家に近づくべからず如何に爲すかと云ふ內に水は漸次に減水し雨又止みたれど勇敢なる林上等兵は危險を冒し

□激流を泳ぎて　一巡し漸く屋上又は屋內に避難して減水を待てる人々と連絡を取りて歸りたり此の時林郵便局長一家は家諸ともに保線手の爲めに救助されて田村郡書記は森川財務係と共に三時頃水害狀況を道廳に電報し歸途兩人共に押流され森川氏は後漸に泳ぎ着きしも田村書記は押流され行衛不明となり流失家屋七戶浸水半潰したるもの二十二戶床下浸水は殆ど市街の三分の二に及べる事を確かめ得たり、午前五時頃全く減水し田村書記の死體は邑內にて發見されたり田村書記の死は氣の毒の至りに堪へず同氏は報告を終りて引返す折既に

□河水胸邊に達　せしも家には脚の立たざる娘と妻女及び子供のみを殘し置きたるを以て危險を顧みる暇なく又森川書記も病中の弟及老人子供等を殘し置きたるを以て流に飛込み泳ぎ歸らんとし又兩書記の家庭には主人の出掛けたる後に俄かに浸水床上に及び先づ田村書記の家にては門及び表雨戶を打破られ更に裏口を破られんとしければ一同協力して雨戶の押し倒されぬやう極力防ぐ中漸く減水し一安心と思ふ處に主人の溺死したる報を受け母子皆な打倒れて悲歎の淚に暮れ居たりと森川書記の妻女は佛教信者にて主人の出で行きたる後に俄に浸水し今にも

□家は押流され　んとしたるを以て病中なる夫の弟を戶棚の上に上げ死なば諸共と二人の子供を背と胸に抱へて水の口に達せぬ樣に搖り上げながら一心に念佛を唱へ居たりと漣川農園の木村氏方にては全く寢耳に水にて姙娠中の妻女を屋根に上げ今にも押流さるべしと戰々兢々たる內に漸く減水したり朝鮮人は早く逃げ去りたるを以て流失家屋は多かりしが人畜の死傷なしと憲兵隊を辭し漣川農園を訪ひ引返して郵便局林局長の夫妻を訪問し其の遭難談を聽きたり以上は極めて概略に漣川水害の一斑を記したるのみなるが、更に余はエミールゾラの『大洪水』にあるガロンヌ河の氾濫に

□全家族を擧げ　て押し流されたるルイ・ルービュー一家の悲慘なる物語よりも更に悽慘たる林郵便局長一家の遭難談を記さんとす(觀察記者)



車灘川鐵橋(上)と水害地見取圖(下)　漣川郵便局長一家族が家と共に押流されて懸りたる

工學士發狂して自殺

大阪松田新築圖案事務所長工學士松田伊作(三〇)は精神に異常を來し十五日寶塚に建築中の島田氏別莊普請場にて短刀を以て咽喉部を突き自殺せり(大阪特電)

金剛山探勝團

滿鐵大阪出張所主催の近畿實業家金剛山探勝觀察團一行二十名十六日朝連絡船高麗丸にて釜山着市中見物の上午前十時三十分發列車にて京城に向ひたるが夫れより金剛山に向ふ筈(釜山特電)

美しい灯の海

仁川の盂蘭盆と盛なりし精靈流し

仁川の盂蘭盆は新暦にも非ず舊暦にも非ざる本月の十三日が迎へ盆で十五日の夜は送り盆であつた當夜は海岸棧橋附近に於て精靈流しを行つた例に依つて例の如く海上は萬燈に偉觀を極め稅關構內は時ならぬ雜沓を來した、午後九時頃の潮流は恰も

▲最大干潮で　あつたがそれでも精靈流しする者今宵の盛觀を見物せんとする者既に棧橋に溢れ構內外に犇めき合ひ夜の更くるに隨つて人出は彌增しに增して濱町道路より海岸に至る間は燈籠の灯影白蠟の光も眩ゆく西方彌陀の淨土に送る可き極樂丸や西方丸なんど提灯の滿艦飾に眼も絢なるが陸續として絕えず梵鐘の音御詠歌の聲も騷がしき程にて一時押別けならぬ雜踏を呈した十二時頃には人出最も多く海上には

▲無數の燈籠　波のまにまに漂ひ赤白靑の提灯に彩られた流行く舟は送り火を流して港內さながら火の海と化し其の美觀は譬へんに者無く幾千の見物は只恍惚として夜の更くるさへ知らざる者の如く一時二時を過ぐる頃迄も非常の賑ひであつた(仁川)

兒童七名を失明せしむ

島根縣福光村學校醫の大失態

島根縣邇摩郡福光村小學校の兒童にトラホーム猖獗を極め內兩眼失明者三名片眼失明者四名を出せり學校醫が不注意にも淋病治療に用ひし筆にて目藥を含ませ點眼せしより淋毒兒童の目に入りしなりと(大阪特電)

保護者へ注意

十四日午後三時十五分頃龍山より東大門行きの百十七號電車が京城古市町十四番地先きを進行中線路にて遊びゐたる同番地藝瞻梁の長女まきを(六)が電車の前を橫切らんとして觸れ肩間に深き傷に達する創傷を負ひセブランス病院にて應急手當を受けしが治療一週間を要すべしと

讀者文藝

▲一口噺『其時々の運』

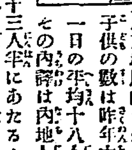
○與太『ナゼ敎會の屋根などに雷が落ちるのだらう』

牧師『天國に行く道があればなり』(一等)　京城　香波　和衛

[illegible]　利川　ふの字

◎哀れなる一家へ　本月五日本紙朝刊所載『就職難から發狂』の木內庄吉一家へ本紙愛讀者二人より金として四圓本社を通じて寄贈ありたり

灯とし頃



▲京城府內で生れる子供の數は昨年中の一日の平均十八人半その內譯は內地人が五人と鮮人が十三人半にあたる▲また府內で死亡者の數は一日平均十四人六分此の方は確かな統計がわからぬが鮮人は內地人のざつと三倍にあたるさうな▲されば府內では一日平均四人の人口が增加するとなる▲それで出產率の最も多い時季は毎年正月の月で最少は極月の十二月なれどこれは少々芽出度い正月に操越さす原因らしい▲さうすれば陽春の頃が最もお芽出度い時分となるといふ結論になる▲これに反し死ぬる人は多く時候の變り目の初秋の頃が多く盛夏は却つて尠ないものであるらしい▲それに近來は內地人中にも京城に墓地を設ける人が多くなり中には家族墓地を定めた人も尠なくない▲墓地は一坪上八圓、中六圓、下四圓、鮮人の中などでは二三百圓もかける向きが多いといふ▲以上あまり陰しい抹香臭くなつて恐れ入るが目下の京城の人口は總計廿五萬三千六十八人、その中內地人が六萬七千三十八人、鮮人が十八萬三千八百六十六人外國人が二千百七十二人となる

●酒精の爆發

看護婦の大火傷

口を密閉する爲め蠟燭に點火して蠟を流しつけ居れる際蠟燭の灯が中の酒精に引火したるものか俄然爆發し

●赤痢とチブス

京城旭町一丁目三十九番地燐正一(三八)は十四日赤痢本町二丁目三十五番地岩見徳之

八時四十五分釜山入港新羅丸二等客(二等)一名 [illegible]

八月十五日午後九時四十分釜山入港壹岐丸二等客 [illegible]

課題募集規定

募集規定

天氣　晴れ時々曇り

商況

債券現物特電

公債直取引

東京期米特電

大阪株式

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

●綿糸更に瓦落　支那より逆輸入　[illegible]

十九圓　當限遂に二百九十七圓方の瓦落　當限十七圓方の

丁度二銘十二圓を報ぜり

●藥品大動搖の兆　[illegible]

家へ影響は甚大　我藥品界の

暗流急奔　市中相場阪地市場

●染料頗る頑强

ローダミン　約倍額に上る

五割高洋粉紅及ベンゾー品拂底

最近約二割方騰貴

一割方値上内定

實行に免れ早晩前記の

●銀空前高　大連取引所に於ける銀の空前の高値　圓八十錢と空前の高値百四十五

●鉞力板百十圓

方の暴騰を演じ平板約十二三圓

五圓拔きを實現す

●洋釘益々昂騰　一時半以下の細物二圓方騰貴

一圓内外の上鉛　尚二圓を存

●甘瓜と穀物需要　約三割增加　鮮白の消費力

約三割內外を減

●鹽鯖は不賣

南大門の廻穀

平澤白米	二六	平澤小麥六〇
天安白米	六七	天安小麥三〇
沙里院小豆	二六	黄州裸麥四五
黄州大豆	四五	黄州裸麥三〇

釜山穀物(十五日)

生魚市場

仁川期米

十六日前場(强硬)

大阪天候晴　昨止より一錢安の入電　九錢と一錢安　先十九圓二十

大阪五節七十六錢　安移り底强く下漲りの成行を示して散會

市場零聞

▲强硬下漲る

▲今の大買物　玉數實に三萬石以上

俄然先限に向つて大買退きを敢行した

▲稍々縮少す　遂に三百四十一丁と迄縮少するに至つた

▲大混戰商盛

▲順氣賣時勢買

順氣譽め賣氣旺盛一面時勢買

正米の强硬

青物だより

仁川米豆取引所　十六日の十月限

前場		平均値段	
寄付	十九圓二十九錢	一節	十九圓三十二錢
止め値	十九圓三十五錢	二節	十九圓三十七錢
高値	十九圓三十九錢	三節	十九圓三十八錢
安値	十九圓二十九錢	四節	十九圓三十五錢
出來	六萬六千二百五十石	五節	十九圓三十四錢

賣買取組高

八月限	一萬四千六百石	一九、二九
九月限	二萬五千百石	一九、三二
十月限	四萬千九百五十石	一九、三〇
十五日後場		一九、三一

前日と比較　五萬八千石高

仁川米豆取引所仲買人　大五仲買店　店主　猪岡政太郎　仁川港本町三丁目　電話三〇九番、長九三番

◎慘を極めし　鐵嶺の洪水
溺死者三百餘名に達す

柴河が溢れた堤防が切れたの聲は突如十日の午前七時過ぎ鐵嶺市街の一角より起り丶スワとばかりに北門に走れば早や附近は一面の泥海と化し渦巻く濁水はごう〳〵と音して鐵嶺城の東北より西に西にと

◆押し寄する水勢の 物凄さ譬へん方なく際に流れ行く木片或は屋根の上に登き運命を託しあれよ〳〵と叫びながら逆巻く泥水に押流さるゝ老幼男女支那人の數指を屈する遑なき程にて其悲慘とも何とも形容の詞なし西に流れて鐵道線に塞がれたる水は其處より南に轉じ早や我居留地の西端鐵道線の下衛隊列舘附近を始め追々に南に走り東に溢れて堤防缺潰の報を耳にしてより僅々三十分を出ざる間に附屬地と云はず居留地と分たず凡て鐵嶺の

◆日本人居住區域を 北西南より遠巻きにし一氣に押し流さんず勢を以てまたゝく中に泥海と化し了れり咄嗟の出來事に何人も殆ど家財を持出す餘裕なくしありたりとて僅かに居留地數島町本願寺及び其附近四五軒を除す他は何れも數尺の浸水を見ざるなし此有樣に警察署員軍隊消防團等逃げく浸水口と覺しき箇所を塞ぎ止むる等必死を附て防ぎたれど須臾にして

◆附屬地大街邊の水 は屋內にて乳以上に達し滿鐵、郵便局、警務署員等男が多く家に在らず且つ自家を省る遑なく公務の爲めに奔走しゐたる人々の家族は多く運を天に任せて立樹に縋り若くは屋內に在て腰以下を水中に浸しながら數時間救護の來るを待ち居たるなど其混雜筆紙に盡し難し居留地側にては櫻町一二丁目最も被害多く家屋の破損商品の被害等容易ならざるも大體を通じて居留地の損害は附屬地の半ばにも達せず

◆城內は日支人も凡て 安全なりしが日支人の貿易商或は特産物商等が水害に罹りし特産物綿糸布等大部分浸水せしかば其損害額は非常に多かるべし全體の損害額は目下調査中なるも正金銀行出張所の如き行員等は僅かに身を以て逃れたる程にて金庫重要書類等も浸水の厄に逢ひたる程なれば行員家族等は何れも一枚の着替すら取り出し得ざりし始末なり此他同行員等と同樣の運命に逢ひたる人々約三十五名は避難所に宛てられたる滿鐵醫院小學校等に難を避け十一日正午全部退水せしにも拘らず

◆歸るに家なく食ふ に食なき有樣にて焚出を受け居れり水量は刻一刻十日午前九時頃より十時半頃附屬地一圓は既に濁水馬首に達し如何にするも交通不可能となれり此間警務署員は固より軍隊は驟隊長指揮の下に總員出動何れも全身泥と水とに浸されながら要所に在つて水を塞ぎ或は北門街附近にて溺るゝ多數の支那人を救ひ又驟隊衛生班は夜に入る迄各所を巡回し負傷者の救護に從事せり其後間斷なく非常の勢を以て西に走れる

◆水は終に自ら鐵道 線路を破壞して出口を求めたれば午後二時頃より減水し始め十一日朝迄に全部退水せり水勢の減退にて漸く愁眉を開く間もなく水道破壞の爲め附屬地は飲料水に窮せるより滿鐵は散水車若くは大樽等にて居留地の井戸より水を運び一時の急を救ひたりしが其後奉天より飲料水を取り寄せ一般に供給すべく十二日朝より實行せり支那側の溺死者は其後確實なる者三百餘名を算せるが商埠公署にては一人の屍體を發見せし毎に二元を一人を救ふごとに十元の賞を懸け搜査に努め居れりと（奉天特信）

保護願の人相は皆美人
內には振つた活版刷の願書もある

自殺する者も季節に因りて其手段を異にし春多の候には及物、劇藥服用の自殺者多く之れ等は主として屋內に於て行ひ、夏秋の候には縊死、投身者が多く、犯罪も季節に因りて種類を異にし亦た犯罪の數も多寡がある由にて人間は總ての場合に於て季候と直接感應の免れざるもの丶如く若春の男女が墮落、家庭の關係より家出、金品を持出して又は横領して逃亡する者も多季は成るべく暖かき方面へ、夏は成るべく涼しき地方へと季節に因りて

◆落著先を定める もの丶如し、此等の理由に基くものにや五六月頃より頻繁に渡航したる形跡ありて其筋に搜索願、保護願の類の多きこと逃しく當時釜山警察署に此等の願出は毎日四五通多き時には十數通に上ることがある、扨て其種類は若き男女の墮落、家庭不和の爲め娘の家出、番頭店員の横領持逃、學科の不成績の爲め父兄に申譯なしとて不量見を起して飛び來るもの、家庭の不和より實家へ歸れぬ

◆新嫁の無分別や 商業に失敗の自暴自棄より仕入先を踏倒して逃げ來るもの、若氣の無分別より家業が厭になり一攫千金を夢見て渡來せるもの等にて家族は何れも心配の餘り保護願を送り來るが搜索願の者は別として保護願の來れる者は殆んど何の的もなく

◆飄然として渡航 し來りし者にして旅費の送付を受くるか、出迎の者に連れられて空しく引返すものが多いのみか多少の旅費を攜帶して居ながら思ひ切つて前進を爲す甲斐性ものは稀れにて甚だしきは父兄を威して見んと不量見の見がある女房に逃げられて保護願を出す夫も隨分あるが大抵は夫の素行が修まらぬ爲め愛憎を盡かしたもの、姦夫と駈落して來る者も少くない樣であるが此れ等の

◆保護願の人相は 惡く書いてあるもの殆んど無く左りとて美人で候とも書けぬものと見え只別嬪らしいやうに書いて在る、稀には拙れの女房として似合しからぬ美貌なる故フト不量見を起して候抔と惚氣たことを書いたのもある、著衣は女は大抵にお召、銘仙類が女の部に多く男も和服が十の八九で洋服は甚だ尠い『此程御地方に滯在又は潜伏致居候形跡之有候に付』云々と

◆活版刷の保護願 を越す如きは甚だ振つて居る、藝者、酌婦の驅落は相手は板場か床屋か自轉車屋の雇人に限つて居り、素人娘は活動の辯士、吳服屋の手代と極まつて居るやうである、中流以上の妻君には年下の男が多く身分を憚つてか業を記したものは見當らぬものである、商人は仕入先の間屋を踏倒したもの、番頭手代は賣掛金の持逃げ額と定まつたとは云ふ迄もない（釜山）

◎夏は胃腸を害し易い
赤痢豫防心得

京畿道警務部にては管內各警察署及び憲兵隊をして一兩日中に赤痢豫防心得の印刷物を一般に配布すべき筈なるが右に依れば赤痢はペストに比較し害毒甚しからざるも朝鮮に於ては

◆四季を通じ て患者發生し昨年の如きも京城市內に於て一月より六月に至る間は每月二三人乃至六七人の患者を出し八月には三十九人九月には五十三人を出し十月よりは餘程減退し居れり元來赤痢病は胃腸より原因する傳染病にして夏季は一年中に於て最も人の胃腸を害し易き時季なるを以て赤痢は多く夏季より秋季に亙り流行するを例とせり本年の如き每月十八人以下の新患者なりしが六月には二十一人七月には

◆俄かに增加 して七十五人の多數となり八月に入りて十五日迄に既に四十五人の新患者を發生せりされば一般注意すべき大要左の諸點なりと

▲水は成るべく飲まぬ樣にし湯・茶・麥湯の如き一旦煮沸したるものを用ふること
▲氷・サイダー・ラムネの如きものは可成之を用ひざること
▲果實殊に西瓜の如きは可成食せざること
▲腐敗に傾きたる飲食物は勿論可成前日調理したる食物を食せざること
▲暴飲暴食を爲さざること
▲蠅の驅除に努むること
▲不消化物を食せざること
▲寢冷をせざること、腹部を冷却するときは胃腸を害する故就寢の際は可成腹卷の類を用ふること
▲家屋の內外殊に流し元、井戸端、下水、便所等の掃除清潔に注意すること
▲運動不足の人は可成適度の運動をなすこと

◎擧動不審の男
連絡船中で引つかける

廣島縣豐田郡佐江崎村字能地當時住所不定井上保吉事谷口仙太郎（三九）は月八日朝下の關出港關釜連絡船さくら丸に三等客として乘船し釜山に來る航海中船內にて見知合となりし愛知縣知多郡大高町甚兵衛長男中島孝一（二〇）と諧し中孝一は朝鮮に始めて渡航するものなるも別に行先も定まらぬ何か適當の職業に就かんと話したるを仙太郎は自分は度々渡鮮し勝手案內なれば一身を引受けんと同夜釜山に上陸し二人連れにて埋立新町の鮮人宿雲集旅館に投宿し翌日瓦電會社の集金人に世話すべしとて身元保證金なりと詐りて金五圓を騙取し仙太郎は牧の島洲岬の宮本某方に預金せる百二十圓を自己の代人として受取來り呉れと受取證を認め孝一を同地に遣り不在中に孝一の手廻り金全部を窃取し逃走したるとは知らず孝一は仙太郎の命ぜられたる洲岬に至り係り尋ね合せしも宮本某なる者住居し居らずとのことに空しく立歸り見れば前記の始末に驚きて其由釜山警察署へ屆出でたるより同署の吉田、牧の島上田兩巡査は協力して十二日牧の島洲岬貸座敷明月樓に登樓し娼妓文子を揚げ遊興中を取押へたるが仙太郎は其時既に敵娼文子の熱誠中に縮緬兵子帶一本を窃取し附近繫留中の帆船內に隱匿し居り倘ほ身分不相應の身裝を爲し居れるのみならず擧動に不審の點多く察するに內地にて犯罪を爲し逃走し來りし者ならんと各方面に照會し嚴重に取調中なりと（釜山）

◎雀一萬數千羽

慶北漆谷郡地方に於ては近來雀の繁殖著しく爲めに農作物を害すること一方ならざるものあるを以て同地郡廳及び憲兵隊は之れが驅除法に就き種々凝議の末遂に本年四月頃より捕雀獎勵會なるものを設け懸賞を附して極力雀の捕獲を獎勵しつゝありしが七月末日を以て第一回の締切を行ひたる際に於ける捕雀總數は一萬四千四百二十五羽の多きに達せり、而して右捕雀數の多少に依り等級を附し去る五日漆谷公園內に於てそれ〲賞金の授與を了したるが熱中最多數を捕獲したるは一人に就き六百七十四羽、五百二十八羽最も少數のものと雖も一百五十六羽を捕獲し成績比較的佳良なりしより偕引續き驅除獎勵中なりと（大邱）

◎宮川五段講話　警務總監部

內武術臺にては目下滯京中なる東京講道館五段宮川一貫氏を聘し十七日午後三時憲兵隊司令部將校集會所に於て柔道に關する講話會を開催し一般の來聽も歡迎する由

渚の砂

■稀代の少年劍客　岡山武術所の屆田伸蔵勢男（一五）は此の間同地で武德大會の際二十四名の敵を薙ぎ倒して優勝賞品として太刀其他を授けられた

■按摩の殺人　廣島縣安藝郡上蒲刈島村加藤晋四郎（四八）は按摩の師に大酒を呷り喧嘩の上相手を庖丁で殺した

■活辯の毒牙　東京淺草公園活辯松村信郎（三八）といふ活辯は十さ十一歳の少女を誘拐して弄び其外に二少女を人質に置いて無錢遊興をやつた

■女を慕ふて　伊豆國二見町澤口圓次郎（二八）は情婦小林さち（二〇）が汽車に轢き殺されたのを悲觀して十月拾日これも汽車に轢死を遂げた

■代議士と郡長　富山縣中新川郡元代議士金山從革は坂本下新川郡長送別宴席で郡長を罵倒したので郡長から告訴された

■感心な藝者　高知縣安藝町高月枝の藝者小牧は平素貯金してある內から此の程十二圓を引き出して小學校の運動用具費に寄附した

■戀の意地から　福岡縣小笠郡上內田村前田彌十郎（三二）は西山田村の飲食店梅田三吉の妻こま（二五）に横戀慕し再三輕しき振舞に及ばんとするも撥ねつけられたのを遺恨に思ひ十一日三吉方の井戸に石油を入れた

■怒れる二少女　神戶市大開通四丁目女中本あさ（一四）は病人一人の家で其の保養が出來兼ねることを悲觀し同じ仲間の丁女下淵通六丁目前田ひで（一四）と共に十一日午後須磨海岸で投身情死を企てゝ居る所を警官から抱き止められた

左記鑛業權ハ大正六年九月三日午前九時當廳ニ於テ競賣ニ付ス競買保證金ハ申出額ノ十分ノ一
一、楊平郡楊東面所在 金鑛六十七萬八千三百六十八坪 此最低競賣價格金四萬五千圓
一、同所所在 金鑛六十一萬六千六百坪 此最低競賣價格金壹千圓
債權者 森勝次
所有者 沈悅
京城地方法院驪州支廳

期米　曾我商店

材木大發賣廣告
數百年來成長せる本道著名の海州郡首陽山所在羅時山立木全部を買收し目下左記所に於て伐採しつゝ候間御用材を最も廉價に發賣致候に付御希望者は現物御熟覽の上多少に不係御用命の程伏て希望致候
木材種類 松木、眞木、槐木、栗木、柯木、雜木
黃海道海州南本町二一四番地
八月十五日　河成龍 告白

最新特許　うどん そうめん そば　製麵機械　博覽會共進會各賞金賞牌各種受領
家庭用麵機は規模小にして價低廉 陳列場には各種麵機多數陳列せり 說明書御望みの方郵券二錢要す
元祖 Ⓜ 眞崎麵機店　東京市淺草區東仲町二十番地　電話下谷（長）五二〇九・三二五・七五三

強胃消化錠
八木田博士御處方 島田博士御鑑査
アナタの胃病にはマーゲン
＝本劑の特色＝ 二博士鑑査の本マーゲンは吾式胃病藥と異り其卓効は根本的に胃の機能を盛んにし消化を佳くし食慾を增し胃腸を治し著しく胃を爽快にす
大阪市東區上本町五丁目　田畑保藥房

夜具地綿
…○○各品全揃○○…ますます高値に向ひつゝありますから御早い程格安に願はれますベーエ
龍山元町（電話四二八番）　こまや 植西吳服店

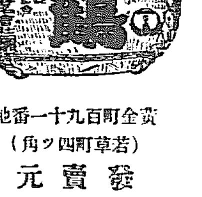
髮をしなやかに、丈長がく　美しく房々と　黑くするは漆のやうに　麗い世界に
パール煉香油があるばかり
……とは……パール愛用者がおつしやる實話であります
本舖東京 平尾銑也商店　關西代理店大阪 平尾贊平支店

朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城　振替貯金口座京城三三三番　電話（圖）三三一、三三二、三三三、一〇六、一二六〇、一二六一、一六一三
支店 東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、吉林、哈爾濱、營口、傳家甸、龍井村
出張所 右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

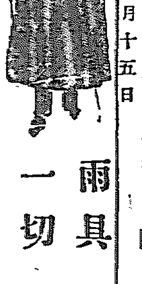
內科 胃腸病　診察夜九時迄　京城本町一丁目　石川醫院　電話一一三七・九二九番

登錄商標　日光の力と鍾馗印の威光とは蟲害を絕對に豫防す
大形金十二錢 中形金七錢 小形金三錢五厘 大壜金五十錢 小壜金十錢 各地藥店にあり 代理店京城 新井藥房

眼科專門　京城本町四丁目カルヽス溫泉横（電一五五六）　金井眼科醫院　日曜祭日午前中　金井豊七

優等清酒

黃金町九百十一番地（若草町四ツ角）　發賣元 本莊酒店　電話六五四番 振替京城六二〇番

內科小兒科 婦人科眼科　京城南山町二ノ四六（三越合宿所上）　一元堂醫院　電話一一二四番　小山亨


雨具一切
□柳製專賣品トランク
□雨合羽防水布引マント
□魔法瓶及中瓶取替
□其他旅行用具一切
京城本町一丁目　高木旅行用具店　電話一三四番

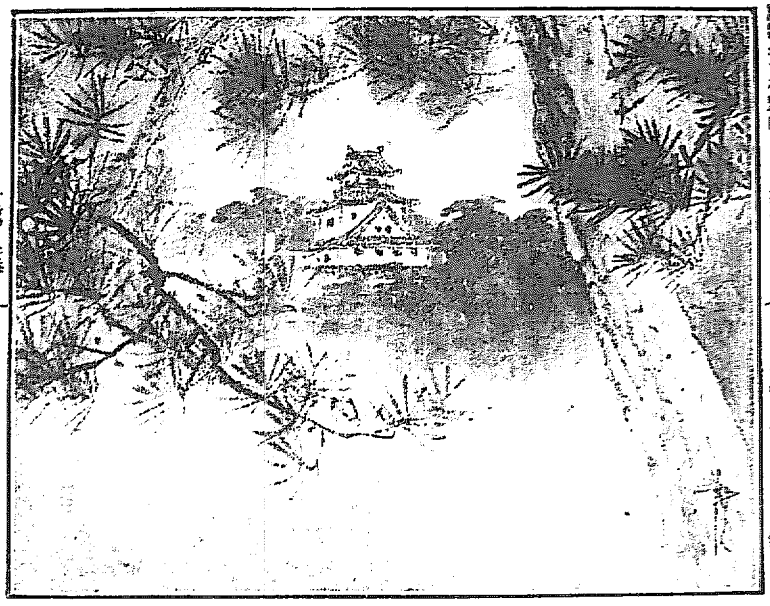
△電話開通▽
電話（長）五四六番（元市內初音町與田貞五郎殿分讓受け）
原籍 廣島縣佐伯郡神村大字岡大王百八十三番地
營業場所 京城府南大門通り五丁目八番地ノ一號（元和田商會跡）
諸金物小賣　山口兄弟商會
建築ペンキ塗請負（兄）山口宇市　津用事（弟）山口求馬
大正六年八月十五日

明君道中記

第二百三十七席 田邊南龍口演

生駒帶刀と水野日向守が懇意を結んで居りました處、日向守の娘と帶刀の伜を娶合せんといふので縁談を取極め愈々婚禮といふことになりました。スルと此の事を聞いたのが生駒家の江戸家老石崎若狹前野治右衞門の兩人が平素帶刀とは不仲である故是幸ひと思つて老中土井大炊頭の役宅へ罷出種々讒言を構へました。といふのは諸侯と陪臣と縁組をするといふのは德川家の制度として成らんと云つてありますので、それも公儀へ届出れて格別內々にて婚禮をいたす

に拘はらぬもの故生駒家再興を願ひとうござる。土『其の御執成は最もなれど公儀の御條目に背いたこと故免す譯には相成り申さん。將軍家より其の罪を重くせイとのお言葉もござれば 水『然らば手前事は備後福山十萬石は公儀へ差上げて隱居仕る』と日向守勝成は立腹をして十萬石を公儀へ返上して下總の結城へ隱居いたしてしまひました。武門の義理とは云へ思ひ切つたことをしたもので、最も是には云ふに云はれぬ事情もあつたことでございませう。役に公儀よりし



といふのであるから、石崎の言葉を聞いて土井大炊頭も悉く怒つて此の事を將軍家へ申上げましたから愈々此の沙汰は廣大となつて生駒壹岐守は上儀を蔑如の振舞といふので千八百石は改易となり、壹岐守は高松家へお預けとなつた。生駒帶刀は高松の領分長生寺へ蟄居となりましてそれ／＼公儀より處分がある。此事を聞いて水野日向守勝成は大いに怒り直樣土井大炊頭の邸宅へ罷出 水『此度手前方を生駒帶刀と縁組いたしましたは內々の事にして恐事極らば御屆を申すの心得、然るに何者が如何樣申したかは知らんが生駒壹岐守の家を取潰すといふは洵に氣の毒の至り、直參と陪臣と縁組をしたればとて差支はござるまい、それを廣大に云ひ觸して生駒家を取潰すといふは甚だ不仁の至り、元壹岐守此の事

て一萬二千石を下されまして、諸侯の列に御執立になりました。それは借置いて生駒帶刀が國元で蟄居になりますと、帶刀の一族生駒三左衞門天野四郎右衞門を始め二三十人の者が集つて協議をいたし、是といふのも江戸家老石崎前野の所爲に相違ない、憎むべき兩人國元に居らば討殺してしまふのだが、江戸に離れて居る故其の事もならず、然し彼等が縁類の者は國元に居る故責ては此の者共を討殺して此の怨みを晴さんと弓槍鐵砲薙刀を用意をいたしドツと鬨の聲を揚げて押出しました。此の事を聞いて石崎前野の縁家の者共是

小三四十人集つて戰の支度を爲し、今にも押寄せて來たらば片端より目にもの見せてくれんと待懸けて居ります。双方より取詰てアワヤ討合ひにならんとする處へ是を聞いて帶刀が馬を飛つて乘込んで參り 帶『ヤア各々方泰平の今日劍戟の沙汰あつては公儀へ申し譯無之、かゝる騷ぎをいたしては猶な主家の不爲となつては生駒家再興思ひもよらず、双方共に此處を引取り身を愼んで公儀の御沙汰を待れて宜らう』と帶刀が馬を乘廻して制しましたから双方共に此處を引揚げてしまひます。帶刀も長生寺へ引取つて只管主家再興を祈つて居りましたが、其後更に公儀より何の御沙汰もありません。然し是は表面上であるが其の內實は土井大炊頭が生駒家を怨んで斯くいたしたものである。其の譯といふのは土井大炊頭の娘が生駒壹岐守高俊の室となつて居りました處、此度離縁となつて實家方へ歸されました。壹岐守は美男であるが此の奧方は餘り御容貌も美くなかつたか諸に御夫婦仲が惡かつたが遂に此度離縁となつたので一ツは此の遺恨でございませう

花柳病 皮膚病 須古醫院
京城府明治町二ノ三二(元賞藥館跡) 電話二一〇二番

品質の純良を以て多大の信用と賞讃を博しつゝある
高麗人蔘エキスは
京城府明治町一丁目 小笠原大藥房
電話一九四八番 振替京城三七五三番

暦

八月十八日 土曜日
舊七月朔日 壬辰
本命二黑 坤 戌 先勝

▲二黑◉物忿とする事有る日新事見合南方に吉 ▲三碧◉志なる事有る日新事手控 土工は動なし ▲四綠◉先の見ぬ事有る日新事手控萬事は吉凶取引は用心の事 ▲五黃◉人の爲に注意なる事有る日 ▲六白◉望を叶へる日轉居入學金貸名弘め ▲七赤◉床しき事を受る節爲吉 ▲八白◉不意に終る事有日 ▲九紫◉快活の日 ▲一白◉油斷のならぬ事有日

新梅毒劑 唯一丸

身家を亡ぼし子孫を亡ぼし國を亡ぼす恐るべき梅毒

發生の時期なり

梅毒胎毒横根疳瘡リユマチス等の病毒より來る病苗は毒菌を滅すると共に安全に體內より驅除すべき靈藥により其目的を遂す
現今幾多の梅毒藥中胃腸障害其他の副作用を起さず此兩特効を併有するは梅毒專門藥唯一丸なり百藥効なき方は速に此良藥により不安を去られよ
三日分四十錢 一週間八十錢 二週間一圓五十錢 一ヶ月三圓 持藥九圓十三圓
(品切の時は直接御注文を乞ふ)全國有名藥店にて販賣せり
其病理養生法を親切に詳述したる冊子を無代進呈す送料四錢を要す
發賣元 東京市牛込區神樂坂上 中西藥局 中西莊吉

新梅毒劑 唯一丸

演藝案內

壽座 京城壽町 電話五七八番
江戸生粋いさみ會 海老一鐵五郎一座
△舞臺定曲藝 △寄席茶番 御釋迦様 △新喜劇 一心不亂 二場 △三人滑稽 三場
入場料一等七十錢二等五十錢三等卅錢四等十五錢

大正館 櫻井町 電話八七三
◯天下一品『出雲踊』 ◯活動寫眞は ◯新派悲劇『孝女白菊』(全五卷) ◯舊劇『佐野鹿十郎』(全二卷)

有樂館 活動寫眞常設館 電話(局上)五九七番(局下)二〇五番
▲八月十七日よりの特別大興行 △滑稽『蚊の花束』 ▼大活劇『雲間の家』 ◯新派教訓劇『呪の蛇』 ◉人情活劇『社會の罪』(全五卷)
◉舊派實錄『團七九郎兵衞』(全四卷)

黄金館 電話二六三七 二三六六
▲十一日より特別大興行 ◉舊劇車丹波之守 ◉新派悲劇『鎖』

浪花館 電話二六〇
△大阪親友派浪花節 京山若…

まちや
保管安全
明治町二丁目八十七番地 支那領事館前通
南質店

鐵砲は
横濱の金丸銃砲店
(店主 西村賀治)
に限る

流經新藥 レスノリン
月經
閉止四五ヶ月以內の流經に用ゐば確かに本品にて容易に其効果他藥に優越す
內地十二錢切手 三錢切手添申越
大阪北區曾根崎上一丁目三六地
發行所 常盤藥院

汽車發着

京 城 發 南大門 龍山 ... 仁川 行 ... 北 行 ... 南 行 [illegible]

京城日報

八月十七日 (夕刊と合せて八頁)

本紙定價 一部金五錢 一ヶ月金五十五錢 前金二ヶ月分金一圓十錢 三ヶ月分金一圓六十錢 (以下略)
廣告料 (略)
發行兼編輯人 奥田直毅 印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社 電話 編輯 一三二番 營業 二六〇番 振替貯金口座 京城三〇〇番

▲第三版
當限 二〇、六二 二一、二〇 二一、二九
高値 二〇、五八 二一、一〇 二一、〇八
安値 止め

大阪前場正二十二圓七十七錢兵庫後場二十一圓九十五錢東京二十二圓四十一錢大阪二十二圓七十九錢の入電に接し大阪三百七十九錢四百七十四錢と安移りに四十六錢と押したるも買物殺多く一面利喰に新規に賣物現はれたること大阪五節六十四錢正六十錢と更に安移りあるも一向利す六十七錢を掛け合 大提……

……したるが……より目立ちたる賣物現はれたること……より利喰に新規に賣物多く折柄各地入電と共に又安ん移し四十六錢と押し大阪の更に上安を移したるも今の買物に更へ四十七錢と……を告げ……市況は今の鎮し大賈物に……大阪の不……利かず強硬の歲行……不知今後の……何

在庫品左の如し (以下略)

世界一周通路建設の□想
ハリマンの雄圖 …2
米國の滿鐵司配は竟に一場の夢なりき

何事にもあれ先づ手始めに……

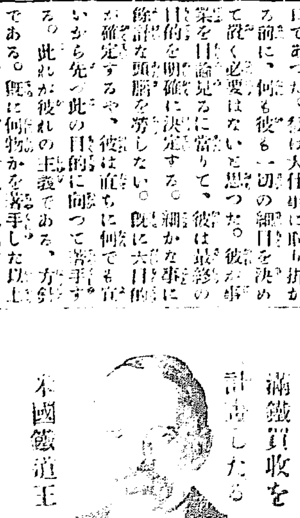
是よりハリマンが、其理想たる世界一周交通路設定の第一歩として、滿洲鐵道經營權を掌握すべく、恰かも日露役の終局に際し、疾風迅雷的に日本の朝野の政府間に運動して、殆ど成功せんとして竟に失敗したる、一場の物語は始まる。以下の記述はケナン氏の記せる所を基礎として、多少說明的に綴つたものである。

極東行を志す 抑もハリマン氏が、從來米し態度を改めて、眼を東洋に注ぎ、大陸內の鐵道事業に沒頭せ直接に極東の事に關係するに至りしは、千九百五年(明治三十八年)からである。彼は「其の關係せるクーン、レーブ會社が、日本政府の軍事公債募集に就て盡力したる事、及び彼自身經營の主腦者たりし太平洋郵船會社の關係から、豫て極東殊に日本と支那とに對して熱心に注目して居たのである。恰かも千九百五年の春事、時の駐日米國公使ロイド、シー、グリスカム氏は東京より書を寄せて此際是非一度日本に遊びては如何と熱心にハリマン氏に勸誘した。風に彼れは此事を思つて居た際でもあり公使の來書に接して遊意勃々禁ずる能はず、乃で彼は、米國に於ける多忙なる鐵道事業や財務關係事業を暫時捨て置いても、極東旅行を實行せんと決心した。彼は如何にして極東の諸國に米國の商業的勢力を伸暢せしむべきかの問題を研究せんが爲め個人的に極東の市場を視察せんと志したのである。而して此時彼れの胸中には世界一周交通路の問題が烈々として燃えて居つた。

事業家なる特性 ハリマン氏の極東旅行に關しても、事業家としての彼れの特性が鮮明に現はれて居る。彼がれは公使グリスカム氏に與へた書翰の一節に云ふ事を言つて居る。『將來米國の商業上の利益が太平洋より驅逐せらるゝの憂を除くことが肝要なり』『何物が之を行ふに最も可なるやを見出す方法は、先づ或る事を着手する事なり』

此の何物かを先づ着手して置くといふ事が、本來ハリマンの仕事の遣り口であつた。彼は大仕事に取り掛かる前に、何も彼も一切の細目を決めて置く必要はないと思つた。彼が事業を目論見るに當りて、彼は最終の目的を明確に決定する。細かな事に係る頭腦を勞しない。既に大目的が確定するや、彼は直ちに向つて着手す。いから先づ此の目的に向つて何でも宜る。此れが彼れの主義である、方針である。既に何物かを着手した以上は、四圍の事情の變化に順應して、手を變へ品を變へ、最後に其の計畫を完遂し、大目的に到達せでは已まないのである。

東洋行の目的 其の極東觀察を決心せる場合にも、此調子であつた。極東に於ける米國の勢力を伸暢し、米國の商業を進展せしむる爲めに外ならずと決定した。乍併此れ以上に細かな事は何等豫定もしなかつた。但だ此時に於て、彼の胸中には、米國の統一的支配の下に、日本、滿洲、西伯利亞、歐露、及び大西洋を經由して、儼然たる世界一周交通系設定の計畫が藏せられて居た。若し鐵道と汽船とによりて聯絡された此種の世界通路が有効に形成せらるゝとせば、世界各國の運商上貢獻する所は、海に多大なるのみならず、之を米國の立場より見れば、當に東洋に於て自國を優越の地位に置くのみならず又亞細亞及び歐羅巴に於ける、開發未だ洽ねからざる廣大の地方の開發を扱け、是等の地方の商業市場の發展を圖て、需要の增進に伴うて米國商品の勢力を扶植するに最も有利なる……こと、彼……マンは……たのであつた。



滿鐵買收を計畫したる 米國鐵道王 故ハリマン氏

放浪漫記
大谷光瑞

(承前) 翌日午後三時ファンイム丸に搭す。同船は三千餘噸の貨客兼用なり。拔錨北口を出て進む。海上波あり、南東風頗る強し。素より北緯に於ける、冬季の北東信風の比にあらざれども、喫水淺からざる(十七尺)本船は、多少の動搖を免れず。二十七日朝マッカサー港に近く、遙かにランポバタン(約一萬尺)の峻嶺を望む。此時、既に港外二十浬に及ぶ。一大灰色船、信號を以て本船を止む。近けば英領假裝巡洋艦なり。士官來り、本船に登り、郵便物を押收し、旅客貨物を臨檢し、午後二時漸く之を終り、晩來マッカサーに着す。翌日マッカサーを發し三十日バリックパパンに着す。同地はボルネオ大石油田の爲に設くる港灣にして油田は遠く內陸に在り。特に北方リテイ河のサンガサンガ油田の邊に多し。然れどもサンガサンガは、川水淺く大船を航せしむるに足らず。故に鐵管を以て之を導き、製油をバリックパパンに於てし、直ちに船舶に供給せり。此地は水深最も適當にして、七八尋より十一二尋に及ぶ。灣內穩なり。風波生せず。最も停船に可なり。近時岸に近く棧橋を設け、本船の如き淺吃水は、優に之を繫ぐを得。午後之を發し、翌日ドンガラに達す。ドンガラはパル灣の北口に在り。附近の椰子の集散地たり。時に暹羅南部の灣頭を扼め、最も將望に往ならす。此の灣底にパルーと名くる地あり、蘭領東印度第一の雨の地にして、……に占むるに、……自三十一年、降雨日數七十七日、七に過ぎず。雨量に於ては、我帝國の最少雨の……附近に……、ドンガラの如きは、一千三百四十五粍、九十日、四を算せり。實に氣象學上の一奇觀とす。雨時期なきを以て、其地に到る能はざるを以て、理由を明言する能はず。ドンガラは茅屋數十を連ぬる一小村のみ。此を發し翌朝パレルに至る。金鑛所在の地なり。然れども資金乏く、……に過ぎず。晩來クサンタンに落す。海、島嶼、礁脈碁布し、最も通船に難し。長汀、曲浦、椰の處に人家あるを知らず。然れども土人小舟を操して本船に來る。月を帶びて同地を發す。

翌朝午前四時アムランに着す。アムランは既にミナハサ州に屬す。風光絕佳、宛然たる畫圖の如し。午後三時拔錨、六時半メナドに着す。時に雨あり、夜色蒼茫、上陸に難む。在留邦人の歡迎を辱うし、僑居に著す。此地は數週滯在し、風光を貪らんとす。此回、在シンガポール郵船會社出張所の宮下氏と同行し此に至る。同氏は貨客の狀況、及び航路の調査を爲せり。常に好意を辱うし、實に感謝の辭を知らず。此に記して以て微意を表す。ミナハサは風光絕佳、氣序溫和、土人純朴、南洋第一の樂園なり。此より自動車を驅り、鄉勝を恣にし、更に後便に概況を申上ぐべく候。本日晚來電報通信來る。歐洲戰局の外、支那宣統皇帝復辟を傳ふ。隣邦又多事なる哉。今回是にて擱筆仕り候。草々

涼榻詩話 (五)
天彭

△明治四十三年に槐南の歿した後、永阪石埭は隱退し、木蘇岐山は病歿し、詩界は次第に寂寥となつて來た。たゞ寂寥となつて來たのみならず、詩風の變遷が甚だしく目に附いて來た。偉人の去つた後の時代は、凡庸時代を租ふが極つて居る。ある人は之を見て、明治初年の詩風に立ち歸つたのだ、と云つた。果して然るか。明治初年の詩風は、未だ舊幕時代の圈套から脫し得ず、諸作家の多くは、專集は勿論一家の全集を熟讀せずして、鈴本郎ち何な詩選と云つたやうなごく手輕なもので濟し居き、遊戲半分に詩を作つて居たのである。大正初年の詩風が、かゝる狀態に逆戾りしたとあつては、甚だ面白くない譯である。

△現今の詩界は、六朝の詩風を帶びた長尾雨山、宋詩の風格ある籾井……、……調を……國分青厓、……野竹隱、……詩を奉ずる磯野秋渚諸士の外、近來著しく頭出した久保天隨(……)諸氏も共に李……翁に倣ひたりかあるが、しかも世間一般に漢學の素養乏しくなつたので、詩を愛好するにつけても、その標準が非常に低下し、その趣味が非常に淺薄となつた。……竹隱の如き人があつても、世間と餘りに隔絕した境地に居るので、餘程の好事家でなくては、その詩の妙趣を明瞭することが出來ぬ。そこで世間の標準と趣味とに恰當なる作者が、翩々として翱翔しつゝある。これが即ち明治初年の詩風に逆戾りした所である。

△明治初年の詩界は、商才槐南を出したが、大正初年の詩界は將に秋風落寞の候に向うて進みつゝある。時日の經過につれて、いよ/\その速度を加へるのは必然だ。しかしそれは詩の文字、格調、作法、趣味が大正の時勢に適當せぬものがあるからで、また如何ともする能はざる次第である。

△然らば則ち詩の本場たる支那の詩界は、近來如何なる狀態を呈しつゝあるか。

誰 (38)
布施生譯

榮孃は俯向いたまゝ默つて昌の怒を耐ねてゐたが此時もう耐らず、『ですからそう申上げたのですわ、何にも云はずに昔の事は水に流して忘れて下さいとね、そうでしやう。』『忘れろ?、私が?、どうして忘れられる、忘れやうと思へば忘れられるものなら、血の循環を止めやうと思つたら血が止まるだらうか、榮樣貴孃は戀と云ふ事は知らないんだな、知つてるならそんな事を言へた義理ぢやない、忘れると云ふのは榮樣、死ぬ事ですぞ。』『厭よ昌樣、死ぬなんて。』『死ぬんです/\、貴孃から私は今監獄から出て來たばかりだ、私はもう世間に希望はない、前途は失望だ屈辱だ孤獨だ、私は自殺するに不思議はないでしよう。』『いけません、自殺するなんて、いけませんよ、後生ですからそんな事は言はないで下さいね。』『いゝた、貴孃はもうそんな事を云ふ權利は無いんだ、貴孃は私を棄てゝしまつた。』『昌さん眞實は――。』『眞實は一寸私と思ひ合つた事があるが、今は嫌になつたと云ふんだらう、僕はそうおや無い、今でも何時でも貴孃を思詰めてるんだ。』昌は榮孃からの返事を待つた、しかし孃は化石したやうに默つて一言も云はなかつた。室內の空氣が一時眞夜中のやうに寂然とした中で突然しく/\と啜泣の聲が聞えた。

泣聲を立てたのは腰元姿をした若い女であつた、鈴富は勿論榮孃も今迄はつい眼前の情に驅られて此女の存在を忘れてゐた、泣聲で誑に歸ると鈴富は今迄極りの惡い事夥しい、そして鈴富は謂ふ迄もなく喫驚した、どうだらう、其處に椅子の前に跪いて兩手で顏を埋めながら身を震はせて泣いてゐるのは誰あらう美那子である。鈴富は動顚した、知らずにした事とは謂ひながら、自分は美那子の面前で、榮孃に對する戀の一伍一什を打明けてしまつた。一人は富有の家に人となつて教育も充分に、女として氣位の高い榮孃、一人は貧家に生れて張を生命に世の中を渡つて歩く美那子である。榮孃には自分は戀しく慕はれた、美那子は自分を慕つてくれるが自分はいゝ加減に接らつてゐる、こう云ふ二人の眼前に、こんなに板挾みになつた自分も辛いが自分の面前で自分の思ふ男が外の女に心のあるのを見せつけられた美那子も隨分辛からう、鈴富は自分の心に思合はせて坐ろに美那子に同情した。

雜話抄

◆甘露は蟲の腹から (科學世界)

昔しの年代記抔に甘露降ると傳へられ雨後杯、槲、櫟等の樹に甘味ある粘液附著せる事あるが右は蚜蟲の肛門より漏出する粘液なりと證せられゐたるも、ヒュスタン氏の新研究に據れば、排泄管の分泌物は甘露に非ずして一種の蠟的のものにして、所謂甘露なるものは腹部の末端より漏出するものなりといへり、但し排泄管とは肛門の環節より數へて二乃至三環節の背面に突出せる細き管なり。

●上旬鐵道運輸收入

八月上旬に於ける京管局線の營業收入は旅客人員十四萬七千八百二十七人此賃金十四萬二千六百七十九圓貨物一萬一千二百六十四噸此賃金八萬八千五百六十八圓を合計收入二十三萬一千二百四十七圓にして前年同期に比較すれば旅客五千四百八十三人貨物一萬一千二百六十四噸……を夫々增加したり尚ほ一日一哩平均收入……

……車場(和田より四哩三分、秋田より四哩)を設置し一般運輸營業開始の旨鐵道局より釜山京城管理局に通知ありたるが右は鐵局間連帶大小荷物を取扱ふものなりと

○法王講和提議

羅馬法王ベネヂクトは交戰各國に對して講和提議の通牒を發したり羅馬法王は其の講和提議通牒に於て白耳義、塞耳維、羅馬尼の復舊、アルサスロレン、トリエスト及び波蘭諸問題の平和的解決を提議せり（紐育電報）

○宣戰と列國の態度

支那政府が獨墺兩國に對し宣戰したるに就き協商側各國は同情を以て之を迎ふる旨回答せるが之に對し支那政府は滿足の意を表せり（北京電報）

○墺公使當分天津淹留

北京駐剳墺國公使は十五日公使館員を引具し天津に引揚げ來る十一月まで天津に淹留する筈なりと（北京特電）

○民黨有力者の親日

孫逸仙、李烈鈞、張繼等の南方民黨有力者は寺内首相、本野外相、犬養國民黨總理、澁澤男爵、遠山滿の諸氏に對し日支兩國は唇齒輔車同文同種の關係あり倶に亞細亞の平和保持文明促進の爲め戮力協心せんとの電報を發したり（上海電報）

○英國勞兵會禁止

グラスゴーに開會されんとしたる英國勞兵會は安寧秩序を紊す虞れあるにより政府より開會を禁止されたり（倫敦電報）

○露政府石炭專賣說

露國假政府は石炭の缺乏を調節する方法として近く之が專賣法を施行すべしと（露都電報）

觀瀾亭雜俎

蘇峰生

○人の一生程、意外なるはなし。吾が一生の目的を、當初より豫定し、努力の結果、之に到達したる者、固より少からず。されど豫定に反し、若しくは豫定に超越し、若しくは豫定以外に、逸脫したる者に至りては、更らに多しと云はざるを得ず。

○一生の運命は、恒久の努力によりて定まるのみならず、往々一瞬間、一刹那の轉折、機會によりて定まるものなしとせず。是れ必らずしも豐太閤や、漢高祖を引證するに及ばず、三家村裏の無名氏に就て質するも、其の例甚だ多しとなす。

○廣翁の素志の教職に存したるは、翁が一生を通じて、教會問題に容なたりしを以て知る可し。但だ彼の父の意、彼をして政治家たらしむるにありしが爲めに、枉げて之に從ひしのみ。而して同時のマンニングは、大學生たりし時より、議院に入るを目的としたりしに拘らず、家の不幸に遭ひ、却て教職に就き、轉じて羅馬教に赴き、遂ひにカルヂナルの崇位に躋れり。若し彼をして其の素志の如くならしめば、或は首相たらんも、未だ知る可らず。若し廣翁をして、然らしめば「英國教會の大監督中、必らず斯人を見出さずんばあらず。

○頃ろ將軍ヤングハツバンドの回想錄を讀むに、其の一節に曰く、予が印度シムラに在る牒報局に勤務中、現時の參謀總長サー、ウイリアム、ロバアトソンに邂逅せり。彼は頃ろ徹く卒伍より擢用せられて、少尉たり。彼の精勵、熱心は、皆な人を驚かしたるも、誰れしも彼が今日あるを、夢想したる者あらざりし也。否な當人さへも。斯く歐洲大戰爭の主腦たる可しとは、いかで思ふ可き。一日彼は慨然として曰く、予には友もなく、縁故もなく、世上に於て本來の無一物漢也。今後の事、唯だ神之を知るのみと、然も此の如き例は、彼一人にあらざるを知る可し。本文の讀者諸君中にも、自から身世を願望して、意外の感に打たるゝの士多からむ。

○帝國軍艦揚子江警備復舊

日獨開戰と共に上海に武裝を解除せる帝國軍艦鳥羽（二百五十噸）伏見（百八十噸）隅田（百二十噸）は支那が獨墺に宣戰せるを以て再び武裝し揚子江沿岸の警備に任ずる事となり十六日乘組員の任命ありたり（東京特電）

○滿鐵監理官新任

十六日附左の通發表ありたり（東京特電）

拓殖局書記官　入江海平

南滿洲鐵道株式會社監理官を命す

○國澤理事長通過

國澤滿鐵理事長は東上の途次十六日午後六時三十分安東縣驛通過京城に向へり（安東縣特電）

○四鄭線營業開始

四平街八面城間十七哩の四鄭鐵道建設工事の進捗に伴ひ車輛運轉の必要に迫り同鐵路局長與恩氏及び交通部技正飯入鳳山他數名は滿鐵より機關車貨車客車等多數借入の爲め北京より來連目下滯在中なるが滿鐵側と商議成立次第直ちに該車輛を廻送し九月上旬より四平街、八面城間（十七哩半）の營業を開始し一般貨客の取扱を爲すべしと尙第一期に屬する五十餘哩の工事も豫定通り進捗せるを以て之又十一月に至らば營業開始の運びに至るべしと（大連）

○日棉紡績經營

日本綿花會社（日信洋行）は今回天津裕元紡績公司（資本金二百萬弗）より其經營委託の交渉に接し爲めに同會社取締役馬場義興氏は先般來同地出張種々調査を了し本月上旬鐵路經由歸社したるが其結果既電の如く愈々該公司を引受け經營する事となれり裕元紡績公司は經營宜しきを得ざる爲め兎角不振の狀態にあるも愈々日本綿花會社の經營に移らば必ずや其効果を擧げ得べしとて一般に期待されつゝあり尙同公司の總錘數は六萬餘あるも現在運轉しつゝあるは僅々二萬五千錘に過ぎずと（天津）

○仁川米檢成績

本月上半月に於ける米檢成績は下格七千五百七十三叺外に二十叺の不合格あり此二十叺の不合格は再檢査の結果乾燥不充分なる軟質米にして氣候の變化に伴ひ漸次變質を來せり故に貯藏久しきを保たざると移すれば乾燥に最も注意せざる可らず而して前月下半期の受檢成績三千七百三十七叺に徵すれば二千八百三十六叺即ち半數以上の增加にして而も今日の如き米價暴騰の折に拘はらず仕向地の相場と釣合を保ち取引を完全に遂行しつゝあり、隨つて一般地方廻著米の前半期に比して以上增加したるは未だ地方在米の缺乏せざる證左と見得べく最も大部分は糯廻著にして地場調製を爲したる者にして今期七千五百七十三叺の內六千〇五叺は例の關東州塗軍用納入米三斗入格若くは特等品たるも米穀檢査標準の包裝及び容量に照らし不合格品なるを以て特種の取扱の下に下格品と做し輸移出の目的を遂げたる者なり更に本年度と前年度との今日迄の輸移出狀況は本年は前年に比し約六萬叺の增加にして一般廻著狀況は前年度に比し總數に對する約三分一增加を來し漸く需給上一致の傾向を生じつゝあり因に今期仕向地は軍用米を除く外[illegible]地なりと

○廣大なる滿洲の森林

東北大學教授　林學博士　小出房吉氏談

東北帝國大學農科大學教授林學博士小出房吉氏は京城通過此の程滿洲に出張したるが氏は京城妙心寺滯在中滿洲の森林に就き往訪の記者に語つて曰く

滿鐵會社は廣大の費用を投じ數年來滿洲に於ける森林の調査を爲したるが最近に至り其の調査の結果は全部完結し近かく浩瀚なる報告として出版せらるゝ事となりたるを以て予も亦主として該調査に與りたる關係上今回急遽出張する事となりたり調査隊は數班に分れ各班支那の步騎兵十數名の護衛の下に三十餘名を以て一班となし吉林黑龍兩省に亙りて廣大なる森林地帶を

▲詳細に調査　する事を得たるが斯くの如き大事業は滿鐵會社の手に非ざれば到底爲し遂ぐる能はざるところなり滿洲の森林は多く波狀形丘陵地に密生し樅、唐檜等を主とす奉天省內に於ける鴨綠江上流の森林地帶は既に採木公司及び支那人各公司個人等にて經營し居るを以て今回は主として松花江豆滿江流域の森林を實查せり、今や我國も木材漸く缺乏し北海道の如きも今後久しからずして其の森林は一掃り斧鉞を返する有樣なるに近時

▲木材の騰貴　甚だしく何れにしても日本は近く他より木材の供給を仰がざるべからず滿洲森林の蓄積は實に廣大なるものにして吉林省の森林地帶のみにても北海道の全面積の約二倍の面積を有するを以て黑龍江省に亙る其森林地の如何に曠漠たるかは知るべきである、滿洲は往古全部大深林なりしが山東人の移住と共に彼等の火田は此の深林をして一掃

▲際限なき赫土　と化せしめたりされども今後と雖も經營其宜しきを得ば滿洲各地に森林を造り得べし滿洲森林中には所々に各地支那語にて何子と稱する處あり甚だしく調查隊を苦しめたり何子は下地林の間に在りて千古の南水排水の口なく且つ其の上に木の腐植土及び其の有機物堆積し易に出づる能はず少からず斯くて腐成し人一步此の中に踏入れば容易く如き地方には多く樅、唐檜等繁茂す樅、唐檜は製紙原料として最も適せるものなり

○夏繭販賣成績

京畿道にては管內に於ける夏繭の共同販賣施行中なるが春蠶繭に劣らざる成績を擧げつゝあり十四日漣川郡に於て施行せる成績を聞くに一石に付特等甲九十八圓同乙九十三圓一等八十六圓二等八十四圓三等七十五圓四等七十圓の相場を以て取引行はれたり而して共石數は六十三石六斗にして販賣總金額は四千三百十六圓にして昨年の特等四十七圓に比すれば殆んど三倍の高値を示し又一昨年の特等三十七圓なりしに比すれば更らに倍額の高値を示せり更らに昨年は京畿道管內精繭平均價格三十七圓五十七錢なりしが今年は今日までの成績にては夏蠶精繭平均七十二圓九十一錢の好果を示しつゝあり因みに十八日揚平郡二十日龍仁郡の二個所を以て京畿道夏繭共同販賣は終了する由

○秋繭出廻期

京畿道管下に於ける秋蠶は目下三四齡にして過日の水害にて多少の被害を蒙りたる個所あれども生存蠶に何等の影響なく反つて昨今の如き氣候は秋蠶には理想的溫度にして蠶兒の發育申分なき狀況にありと而して秋蠶繭の出廻期は九月七八日頃最も盛となるべく今や繭價も健全なる步調を示しつゝあれば春蠶繭に劣らざる成績を擧ぐべき豫想なりと

○鑛石の懸賞募集

甲山の久原鑛業事務所にては今回富源開拓遺利收拾の一方法として鑛石發見者に對する懸賞規定なるものを設け之を發表したるが其概要は新に鑛山を發見して鑛石を甲山の久原鑛業事務所へ持參し若は送附する時は鑛石の種類品質に依り左の賞金を與ふべしと（清津）

一、見本鑛石に依り調査係に於て調査員を派遣する價値ありと認めたる時は現地に案內なし提出鑛石の所在を確めたる時賞金二十圓乃至五十圓

二、調査の結果鑛業の出願を爲したるとき賞金五十圓

三、許可を得たる時賞金一百圓乃至二百圓

三、同立礦山として相當收益あるに至りたる時賞金一千圓乃至一萬圓

○理事長入京

滿鐵理事長國澤新兵衛博士は庶務課員山田潤二氏を隨へ總會列席のため十七日午前八時南大門驛著列車にて入京同夜出發南行す

○牧山氏令兄來鮮

牧山代議士令兄臺灣新高製糖株式會社專務取締役工學士牧山熊二郎同帝國製糖株式會社專務取締役牧山清砂の兩氏は朝鮮視察の爲め十七日午前九時著列車にて入京牧山氏宅に滯在す可し

○朝鮮紡織發起人會

工場敷地は尙未定

朝鮮紡織株式會社にては十五日第一回發起人會を開き左記の諸項を協定したり（東京特電）

（一）資本金は五百萬圓とし株式十萬株は發起人に於て之を引受くること

（二）株金拂込時期は九月下旬とし十月上旬創立總會を開く

（三）工場敷地は仁川、釜山、木浦の候補地の中創立員一名、技師一名を派し踏查の上決定する事

（四）創立委員に委員長日比谷平左右衞門委員和田豐治以下十名を擧ぐ

○三菱製鐵計畫

兼二浦の三菱製鐵所にては鐵材輸送の爲め汽船二隻各八百噸を長崎造船所にて建造中なるが同所は來年八九月頃には製鐵に關する機械工場の完成を告げ製鐵に著手し初めは六萬噸の各種造船材料を製造し一箇年の產額十萬噸に上らば內五萬噸は自家用とし殘り五萬噸の材料にて十五萬噸の船舶を建造すべき豫定なりと（東京特電）

○蓄堂歡迎詩會

詩伯結城蓄堂氏の入京を機とし來る月曜日安淳煥氏別莊往來園に於て同氏歡迎の爲め日鮮人詩會を開催す可しと

○京都觀察團招宴

京城に於ける京都府人會に於ては今回京都觀察團の入京を機とし十七日午後七時より京城ホテルに於て歡迎會を開催する筈

○無門會開期

無門會八月例會は去十二日の第二土曜日に開催の筈なりしも都合に依り中止したるが十八日（土曜日）午後四時より京城商業會議所樓上に於て開催する由

○研究會試驗成績

永樂町研究會にては去月擧行の學年試驗成績考查中なる處愈々決定したるを以て十六日其成績を發表したり因に全會にては來る二十六日追試驗を執行し卅一日午前十時より証書授與式を擧行する由

人事消息

▲太田晉太氏（實業家）　十六日東京より來京

▲宮川五郎三郎氏（京城電氣會社長）　十七日朝入京南尾へ技術の爲

▲岳賀縣視察團二十七名　十六日夜來京

▲兒玉秀雄氏（中央試驗所長）　十七日午前南大門驛發二日の豫定を以て湖南線地方に出張

南言北語

曩に墺帝カール一世が法衣に縋つて講和を嘆願した時▲カール一世の要求を跳付けた羅馬法王ベネヂクト十五世も▲何うやら講和の周旋者になり相な▲果して好く行くか何うか▲法王單獨の意見だか其れとも其の後に黑い影があるか先其れから承はりたい▲露國憲法會議の選擧方法は頗るさんざいなもので見ねて▲誰の家だらうが一向お構ひなく窓からドシ〳〵投票紙を振り撒いて行く▲我大使館の某書記官も一枚を貰つたから面白半分に選擧場に行つた▲すると立會人が『君は日本人だらう』と咎めた▲『左樣日本人だ併し投票用紙を貰つたから選擧にやつて來た』と答へると▲『さうか日本人でも好いやり給へ』と早速投票を許可した相な▲流石大國民の襟度かも知らぬが烏滸した處にでも革命後の露國が窺はれるぢやないか▲大津鈴山輕井澤の尾崎愕堂君に一詩を寄せて曰く▲那村到處驕龍神、炎旱即今如燎薪、淺嶽風雲知動未、瞻望甘雨潤烝民▲甘雨の意味深長愕堂先生破顏一笑せしや否や穴賢々々▲先達某氏が井上角五郎氏に對し『君も成金黨の一人だ相うだね』と聞くと▲井ノ角先生『いや、少しは出來たが成金程迄は行かぬ』と答へた▲すると某氏は早速『然らば角（將棋）がなつた處かね併し縱横筋かいと蟹行する事丈けは止し給へ』は皮肉も極だ

○奉天獨人嘆願

奉天にある獨逸人等は支那が宣戰せ[illegible]

●京畿諸學校狀況

京畿道管內諸學校狀況に就大正六年五月末日現在調査を擧ぐれば左の如し

小學校以下九校あり此教員數男九十六人女二十六人學級數百〇三學級生徒數男三千百十六人女二千四百二人總數[illegible]五百四十二圓

▲高等女學校　公立京城高等女學校以下二校あり教員數三十七人學級數十六學級生徒七百[illegible]

▲普通學校　於義洞公立普通學校以下六十校あり教員數男二百九十八女二十九人學級數二百五十五學級生徒男一萬九百七十人女二千四百七十六人總數二千一百八十二十五圓

▲女子高等普通學校　私立淑明女子高等普通學校以下二校あり教員二十九人學級九學級生徒百十八人總數六萬六千四百六十六圓

▲實業學校　於義洞公立工業學校以下二十[illegible]

[illegible]に於ける新聞業は舊露國政府時代制限を加へられ居る爲め露字新聞二の外發行を許されざりし[illegible]政府と[illegible]時[illegible]任の日本人は漢字[illegible]なるも一邦字新聞なく內地よりの新聞は檢閱の爲め[illegible]が今回以上の如く容易に許可の方針ありと聞知せる清津方面の某々等は[illegible]

一般其必要を感じ居る際なるを以て露國官憲に於て許可するに於ては遠からず實現するに至るべしと（清津）

萬古烈女　日鮮文　春香傳　全一冊　五拾錢

此の書は朝鮮唯一の名作小說にして鮮文に印刷し數十萬部を賣盡し非常の好評を博したるもの今回日文に飜譯したれば內地人士の一讀を乞ふ

發賣所　京城本町一丁目　大阪屋號書店　同鍾路三丁目　滙東書館

少年世界

九月號　美しい口繪面白い記事見るからに暑さ忘る、

東京本町　博文館

▼日本男子の腕前　佐藤中將　小松原

▼天文臺の怪異　白雲

▼天下珍談　ブッキラ坊　竹貫佳水

▼新懸賞『金のメダル』

▽（お伽）島の寶

▽濱口大明神

▽九月の手紙

▽虹の飛行機

▽黑猫物語

▽暴風雨の話

▽滑稽叱られ少年

其他挿話記事豐富

定價十二錢　稅一錢半

少女世界

▼をば樣から聞いたお話

1 入江の少女

2 お良ちゃんの話

3 接木の桃

▼ロシヤの少女　東京見物

▼入外境の黃金窟（冒險小說）

▽（お伽小說）姬の小舟

▽寫眞小說…（乳屋の娘）

▽避暑の代りに

▽少女家事心得

▽少女の心さびしく

▽（寄宿物語）月の世界へ

▽湖畔の少女

外面白い讀物滿載

定價十二錢　稅一錢半

謹告

一金壹千圓也

右者大正五年八月日淸生命保險株式會社と生命保險契約致居り候處今回死亡に付き頭書の保險金速に御交附相成正に領收仕候茲に生命保險の人生に最も必要なる事を謹告候也

大正六年八月

平安北道厚州古邑　被保險者　城定吉

城遺族

朝鮮語會話　第四版

朝鮮總督府屬　朝鮮總督府普成法律商業學校講師　西村眞太郎著

定價金八拾錢　郵稅四錢

受驗者必携の資料　袖珍總クロース四百餘頁頗美本

本書は第二版に於て動詞、形容詞の大增補を行ひ嘖々たる好評を博し偉大なる賣行を示したり、爾來三版は瞬く裏に賣盡したるを以て、茲に更に大々的增補を斷行し、副詞の適譯百種及最近試驗問題解等を載せて、愈々第四版を發賣するに至れり是非速に一本を机上に備へて愛讀せられんことを希ふ

賣捌所　京城大平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

取次所　大阪屋號、巖松堂、京日各支局

開業

今般朝鮮總督府醫員兼京城醫學專門學校助教授を辭し左記へ開業仕候

京城本町一丁目（江戸川橫）

岡本齒科醫院

齒科醫　岡本亮作

……在留せんことを張督軍に嘆願せし所督軍は之を許可するに決したり（奉天特電）

內地人教育

▲小學校　日の出小學校以下三十校あり職員男九十九人女四十二人學級數百十學級生徒數男二千七百十一人女二千八百三十人經費廿萬〇二千二十二圓なり而して[illegible]

朝鮮人教育

[illegible]

▲高等普通學校　私立普通高等普通學校以下三校あり教員三十六人學級十五學級生徒七百四人經費三萬五千百九十圓

◉三度び探勝を試みて

◆大抵の景色なら一度探つて見ると二度と行く氣になれぬが金剛山だけは何遍でも行つて見度い◆

忘れ難い印象……石塚東拓總裁談

石塚東拓總裁は夫人並に令息令孃とともに金剛山に旅行中であつたが數日前歸京した、訪ふて其の談を聞く

金剛山の景勝は餘りに雄大で莊嚴なため文章に書けず話しに成らず寫眞に撮れず繪に描けぬと云ふが、此の言葉は蓋によく

◉金剛山の眞景を語つてゐるやうだ、我輩は今回の旅行で恰度三度目の探勝を試みた、實際大抵の景色なら一度探つて見ると、二度行かうと云ふ氣にはなれぬ、况んや三度目然かも金剛山のやうな交通不便な場所に吾輩が三度も出掛けて見る氣になつたのは、金剛山の神斧鬼工が非常に雄大な故で所謂筆舌の到底及ばぬ丈けの眞景があるからだ、三度行つても決して失望せぬ、觀飽かぬ、吾輩は

◉若し閑暇と事情が許すならまだ行つて見たいやうな氣もする、數日前の京城日報に小出東北帝大教授の談として『其の絶勝と稱すべき所は人の肌に粟を生じ頭髮を堅立し恐怖せしむる丈けの威力を有してゐる』と書いてあつたが、吾輩も其の說には同感で、謂に金剛の峻峯には雄偉な山塞とでも云ふものが存し、見る人をして其の壯大な男性的の氣分に壓せらるゝやうな氣分を起させると思ふ、今回は家族を伴れてゐたから

◉內金剛には入らず外金剛の萬物相九龍淵の溪谷及び海金剛の方を不十分ながら一巡した、ホテルの滯在が意外に長引いたゝめ隨がつて悠つくりした氣分で此の靈山に對する事を得たのであつた、其の一萬二千峰の奇岩怪石とか峻峰とか溪流とかに就ては遍ねく知られてゐる事で玆に予の贅辯を必要とせず又た語り得べき事でもないと思ふが、月明の夜ホテルの庭に籐椅子を持ち出し、其の三方を圍つてゐる

◉暗綠色の金剛山脈に相對した情景や、ホテルにあつて遠い連峰に靄々として煙る雨勢を望んだ眺めなどは吾輩の此行に於ける忘れ難い印象であつた、又金剛山は花崗岩や玄武岩などで山形を作つてゐるが、其の岩の色を熟視すると耶馬溪などの茶褐色なると異なり憾に暗紫色を帶びてゐる、此の岩の色も其の觀望を大に美化してゐるだらうと思ふ、予の滯留中は恰度ホテルも滿員で滯在客も米人瑞人其他頗る少數だつた、予は彼等外人に就て

◉直接其の金剛山觀を耳にする機會は有たなかつたけれど、間接に聞くと何れも其の雄大な勝景には殆んど批評を加ふるの言葉を有せぬと云つてゐたさうだ、尤も靜的の湖水と交通の整のつた勝景を誇國に有する瑞典人は天工の雄偉、逝しる溪流、淸冽の水、渦巻く碧潭と云ふやうな自國の景致とは別種の異なつた意味でその感じを驚ろかしたのであらう、唯海金剛の京城附近は三日浦と云ふ湖水もあるが

◉其の海岸付景色も小さく島も少ない隨つて大したものでない、かの廂底の叢石亭こしよにして海金剛と稱し速力の早いモーターか何かでグルリ觀て廻る事としたら、どうかと思つたりした、又溫井里元山間に於ける交通の不便なるも困つたもので、これは元山より溫井里に成るべく早く自動車を通じさすやうな考案が必要だと考へた

◉僞醫生と共謀して　本夫を毒殺す

全南康津郡七良面冬柏里藥種商徐龍淳（三〇）は同面東里孫昌一（三七）が豫て病氣にて臥床中にて龍淳に投藥方を依賴したるより醫者にもあらざるに之れを承諾し一日二回も服藥すべき必要あれば離れゐては不便なりと稱して昌一方に宿泊滯在すること丶なりしが間もなく昌一の妾朴古色（三八）と關係を結び其の結果昌一を亡きものにせんと企て六月二十日朝藥砒素を昌一に服用せしめて毒殺し病死したるが如く假裝して今日迄兩名同棲中なりしを康津署の探知する所となり八月一日兩名を逮捕して目下取調べ中なりと

◉電車に衝突して　頭蓋骨を碎く

京城林町二十九番地金鍾碧（二七）は十五日午前十時半頃南大門通五丁目にて龍山發東大門行きの電車に飛乘りせんと衝突して打倒れ後頭部頭蓋骨を骨折し左肩を强打したる騷ぎにセブランス病院に擔ぎ込み應急手當を加へしが治療一箇月以上を要すと

◉鮮人と支那人　鑛夫の大衝突

八日午後黃海道遂安郡椋亭里なる漢城鑛業會社椋亭金鑛の鮮人鑛夫約五十七名と支那人鑛夫約六十名とが互に棍棒を以て入り亂れ雨を降らさんとしたる椿事あり鮮人鑛夫は日頃支那人鑛夫を心好からず思ひ居る折柄當日鮮人側の首謀者二三名が附近の酒幕にて酒を呷り端なくも支那人鑛夫の事に話が移り遂に群集心理に煽られ斯かる集團となりて支那人鑛夫納屋を襲ひたるにて將に修羅場と化せんとしたるも此時早く椋亭憲兵派遣所にて未然に防ぎ得たる爲め幸ひ事なく鎭靜したり

◉濃霧中に坐礁

全南海南郡山二面白洞里蔡敬浩（四七）所有帆船（四十石積）は船主及船頭珍島郡臨淮面白洞里金良培（二二）便乘者海南郡山二面德湖里金昌浩（二八）同宋淑彥（五五）の四名乘込み山二面を發し珍島郡智山面加時里に向け進航中五日午前十時頃濃霧の爲進み得ず漂流中智山面長佛島東方の無名島附近にて坐礁して遂に沈沒し便乘者二名は浪に浚はれ行衞不明となれり

◉新白銅が尠い

▽鑄造中止の噂は嘘

自動電話御免と云ふ重寶な新造五錢白銅が未だに一般の流通を見ぬ處から或は鑄造を中止したのではなからうかと云ふ者もあれば甚だしきに至つては既に民間に在る新造白銅を引上げつゝあるなど云ふ者もある勿論其の噂の出所は自動電話御免と云ふ不都合から揣摩臆測した結果なのだが政府は今更突然に之を中止するなど云ふ事はない又自動電話に對する通信者の方で苦心考案の結果最も簡單な方法で一度び飛び込んだ白銅は綜て引いても針金で引上げようとしても斷じて不正者の手に戻らぬやうな設備が調へられてゐるさうだ

◉普通學校燒失

十五日午前三時三十分頃平北中江鎭公立普通學校より出火同校を全燒し鑛火せり書類及器械器具等燒失せしも人畜被害なし原因は溫突の發火ならんと

◉四百個の井水試驗

京城本町警察署にては七月二十三日より八月四日迄管內全部の井戶四百十一箇所の水質試驗を施行せしがアンモニア、亞硝酸、鹽分其の他有機分を含有せる爲め飲料不適のもの二百四十四箇所あり殘り百六十七箇所は何れも飲料に適するものとして夫れ〳〵指示する所ありたり而して南山を中心とし其の山手方面のものは大抵好良積にして山手を離るゝこと遠き場所程舍有物多しといふ

◉水泳漕艇練習納會

十九日午後一時より麻浦對岸溪江に於て京畿道警務部常備消防隊水泳及び漕艇練習の納會擧行の筈にて當日は警務部長警務總監部各課長府內各隊署長新聞通信記者等其他を招待すべしと尙當日觀覽希望者は同日午後一時前に龍山元町四丁目河岸に參集せば其所に消防隊よりの渡船の用意ありと因に多少雨天にても擧行し午後三時半頃閉會同四時より舟遊を兼ね一般觀覽者の歸路を送る設備也と

◉本紙讀者に　半額觀劇

壽座の海老一一座

壽座にて開演中なる海老一一座の奇劇は好評湧くが如く每夜大入りなるが本社は京城日報愛讀者の爲め同座と交涉し十七十八日兩夜本紙讀者に限り半額を以て觀劇の便を約したり半額券は十七日朝刊と同時に讀者に配布する筈なり

◉西本願寺のお伽會　京都視察團一行中の鈴木發堂、岩井榮之助兩氏滯京中なるを機とし十七日午後三時より市內永樂町西本願寺日曜學校にて兩氏の御伽講演ある由

◉浦鹽新紙發刊計畫（浦鹽）

……の如きも亦自由に發……事となりしより日本人にして同地に新聞發刊を計畫するものあり浦鹽在……府に於て許可せられず今日に至りし……露國政……が以上の如く邦人在住者四千に餘り……[illegible]

日本海橫斷　敦賀行（3）

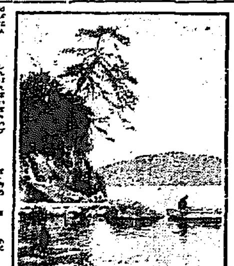
特派員　中島　克己

□敦賀の由來

◆金ケ崎宮に詣で鷗ケ崎の絕壁に立つて遠く眼を放てば鷗飛ぶ立石御の邊紫碧の波は岩礁に碎けて雪と散り水天の接する所一抹の雲影を見るのみである日本海上澎湃たる昨げた出船の三つが玩具の樣に滑つて行く。敦賀の港は此所から見ると矢張り日本海の風波が眞向に吹き付ける嫌はあるが灣內水深く裏日本唯一の良港たる地形を構へてゐる

◆鷗ケ崎の絕勝に名殘りを惜しみつゝ一行は再び俥を連れて町の東南氣比神宮と云ふに詣でんとす正に頭上に廻れば風死して、町の風鈴の鳴らす人の影さへ見ない街へ俥ばかりがスタ〳〵と急いで行く數日來の疲れが出たものか俥上の老俥夫コクリコクリと居眠れば想は遠く數百年前南北朝亂世時代に走せて行く其の昔此の近郊一帶の官軍義貞の一族郎黨が滿腔の熱血を注いで奮戰した所ばかり。後醍は今一行が登つた鷗ケ崎の絕壁に死し義貞は勝非を指して落ちて行く其の昔がパノラマの樣に疲れた頭に展開して行く

◆『もしもし著きましたぜ皆さん彼方へ御出でに成りました』と老俥夫が頭を搔いてゐるのに氣が付いて一目散にかけ出すと赤い大鳥居の側に『皇族下乘』の白札が嚴然として控へてゐる。此所は名にし負ふ氣比神宮官幣大社である、本殿に御食津大神仲哀天皇神功皇后を祀り東殿に日本武尊、後殿に應神天皇、西殿に武內宿禰、平殿に玉妃命を祀つてある本殿は慶長年間福井藩主松平忠直其の父秀康の遺志に由つて建立され正面朱塗の大華表は正保二年佐渡の國に產した一樹の本末を以つて造營したもので高さ三丈六尺だとは土地の人の自慢話、共に特別保護建造物に定められてゐると謂ふ



□敦賀名勝　金ケ崎絕頂の松

◆元來氣比神宮は二千年來の古社で北國第一の大社である丈けに宮域も亦廣く、圍である仰げば古松老杉鬱蒼として天を摩するかと疑はれ朱塗の赤鳥居十數の神殿に映じて神々しい迄に移しい神苑淸凉の氣を與へ雅致ある風光と昔はざる。得れ氣比神宮境內の攝の方に角鹿神社と云ふのが祀つてある敦賀町の氏神林とも云ふべき樣で遠く數千年以前三韓時代日那から頭に角の生へた人間が使者として此地に來訪した相な。其れ以來敦賀と云ふ町が世人に認められ裏日本の良港として細荷の國は往來の舶影を來たし今日の發展を見たのだとあつて人間か獸物かは知らないが角の使者を永へに祭祀したのだと土地の傳說に傳へてある

◆果して其の人間（？）が生きて歸つて行つたのか又は此の地で死んだのかは記者は知らない、只此の角の生れた使者を其時代の人は獸物とでも斷定したものか角鹿なんど稱呼んで居たが後轉訛してツルガ（敦賀）と成り裏日本中押しも押されもせぬ良港の名前と成つたのだと云ふ事丈けは聞知して居る兎角一行はそんな詮鑿な事を今更詮議して居る暇は持たない是から大に現實的に各種の事項を調査すべき大使命を帶びて居るのである

◆だけれども敦賀が如斯已に遠く二千年以前から吾が朝鮮と密接の關係を有し不離の地位に置かれ裏日本唯一の朝鮮貿易港として大いに意義を持つて居る事は豫め頭に置いておかねばならない

（運動界）

🔲庭球遠征團より

於大連　泉　政次郎

▲決戰中止の眞相

全鮮滿洲庭球對抗試合は豫定の如く十四日午後四時より大連北公園コートに於て開始せられたり朝鮮軍（泉、若泉、熊丸、立見）（松本、岩下）の三組滿洲軍は大將組（戶井、伊達）孤軍力戰……[illegible]……既倒に挽囘せんとしたる武者振り勇しく將に（熊丸、立見）組との對戰……[illegible]

◆試合に長時間を要したる……時既に七時を過ぎ暮色蒼然として……[illegible]

◆日程變更至難

にして滿洲軍は……[illegible]……天候にては朝鮮軍歡迎試合日取準備等確定しあるにより遺憾ながら滿洲軍の提案に應ずる能はざる旨を回答するに即決し大連實業倶樂部に陳取れる滿洲軍に右の旨を回答……ゲームの儘とし滿洲軍を京城に迎へて勝敗を決せんとの希望條件を附し本試合を……[illegible]……十五日……[illegible]……にて歸鮮に向ふ（十五日午前九時十分發同日午後五時十分着電）

◆兩軍見解を異

にし……[illegible]……兩軍の銓選組のみにて十五日を決戰せんと主張し朝鮮軍は庭球の規則により全部更に試合を行ふを正當と主張せるも滿洲軍は誠意なき庭球規則を無視し斯の如き規則なしと頑强なる抗議を試みコートの四圍にありたる觀客彌次赤總立となり喧々囂々嘲笑罵詈然無紀律の如き醜態を示し選手の好感を害するの甚だ少く漸くにして兩軍のキャプテンマネージャー四名協議……[illegible]……結局滿洲軍の提案たるドロンゲームの解釋を午後十時迄に協議の上回答する事とし一時退場せるが我軍は滿洲軍にして不法千萬なる主張を撤回せば勝敗を別とし雌雄を決して闘ふべし……と讓歩せるものありしも名數は三十八條の規定により斯くの如き事は問題とする性質のものにあらず滿洲軍は讓歩の好敵手が選する武士的……を知らざるなり故に試合を續行する必要なし……川の朝鮮軍は旅行……[illegible]

新築落成

京城明治町一丁目

入院隨意　昌臨病院　電話一六五九番

院主　佐々木杏造

◆有樂館　十七日より特別納涼興行として寫眞全部を差替へたるが……[illegible]

◆大正館　……[illegible]

◆壽座　好評中の海老一一行は十八日……[illegible]……藝題次の如し……一心不亂三場（四）三人滑稽

面白い懸賞難題

當選發表

正解答案　一ツバメ　二ツメ　三ツバ

過般募集の懸賞答案正解者拾貳萬八千八百貳拾名中より八月二日大阪日刊二大新聞社員の御立會を以て嚴正なる抽籤の結果左記諸君に當籤相成候に付賞品贈呈致候也

一等　銀側腕卷時計　一個宛　五名

埼玉縣北足立郡七里村大字大谷　野崎正光殿
石川縣金澤市大豆田町三二番地　坂下ふみ殿
薩摩國入來村副田　上田茂殿
朝鮮全羅南道淺橋浦　高瀨好子殿
大阪西區靭上通久保合名會社內　伊藤庄吉殿

二等　ツバメ香水中瓶　一本宛　拾名

大阪、門川治三郎殿、愛知縣、鶴岡信吉殿、鹿島（武田米吉內）登川長太郎殿、盛岡、岡山ふさ殿、東京、（川口紫次郎方）金村長造殿、神奈川、柏木善次郎殿、大津、君林彌壽平殿、愛知山田榮治郎殿、宮崎縣、川口信義殿、大阪、西川靜代殿。

三等　ツバメ齒磨袋入　一袋宛　壹千名

三等當選者氏名は多數に付略す。

當選賞品の御送附は當選通知と共に御承知被下度候當選賞に關する御問合は凡て往復ハガキに限る

右之通發表候也

大正六年八月　大阪　發賣元　丹平商會

ツバメ香水　ツバメ齒磨　ツバメ洗粉

一滴で永く爽快なる　ツバメ香水

世界名花の精を集めた、氣高き床しき芳香は永久に交際社會に愛用せらる!!

愈々今明日限

●大入滿員續きの「海老一一劇」

今明兩日限り日延なし

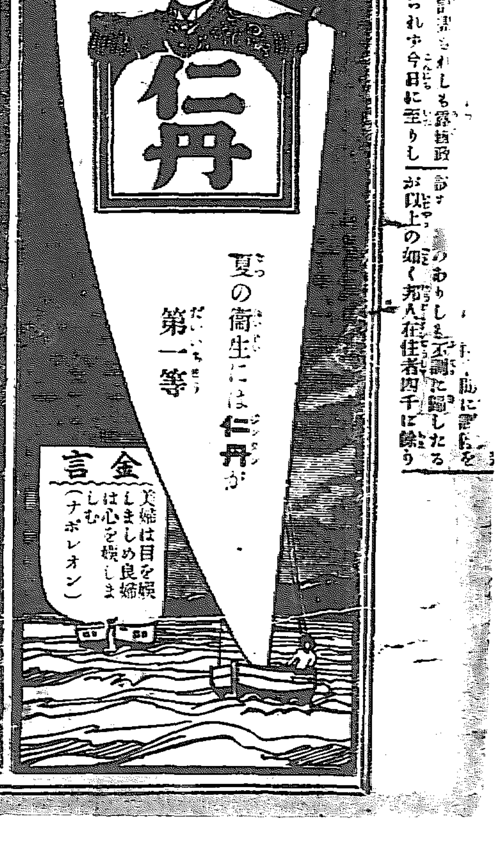
今十七日藝題

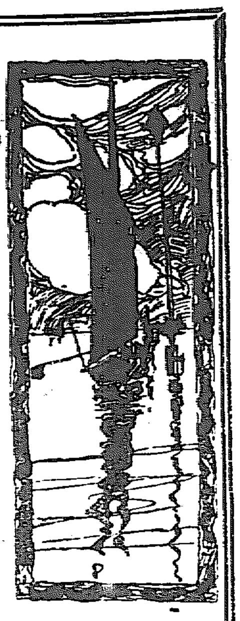
◆舞臺定曲　藝一　一幕
◆舊茶劇　御釋迦樣　二場
◆新喜劇　一心不亂　三場
◆藝づくし　三人滑稽　一幕

●京城日報讀者に限り破格の割引あり

御見落なく御觀覽を乞ふ

京城　壽座　電五七八





淵の主

母川の鰻洗濯せる母をのむ　旅僧これを干して復讐せんとす

澤村宗十郎談

旅へ出ますとその土地その土地で名のあります河などには淵があつてその淵に主が住で居ると云ふ話を聞きます此もその中の一つの話でございますが日本傳説叢書阿波の巻に阿波の麻植郡谷の母川の主の鰻のことが出て居ります昔此の母川の邊に母子二人が貧しく暮して居りましたが或日二人で此川へ洗濯に出かけました一生懸命に洗濯をして居る鼻先へ蟒の様だと噂のある此の川の主の大鰻がぬつと首を出しましたはつと思ふ間もなく鰻は此の母を呑んでそのまゝ水の底へ沈んでしまひました娘は未だほんの少女でしたから母親の呑まれるのを見てはつと思つただけで如何することも出來ませんでしたそれからと云ふもの此の娘は母が戀しくなる毎に此主の鰻の怨めしく何とかして此の讐をうつてやらうと種々に考へました末毎日此の河へ來ては此川の水を小さい手で掬つては深出しました此の水を汲んで主の鰻を干し殺してやらうと云ふ決心でございます只一念に母の讐の打ちたさに毎日々々神佛に祈つては根氣よく深ひ出して居ました今日も娘が居ました小さな手で水を掬つては深ひ出して居りますと通りかゝつた一人の旅僧が不審さうに立止つて見て居ましたが『おゝ大層精が出るのう何しやうと云ふのぢや』と優しく問懸けました問はれて娘はつひ縋りつき度い様な心になりまして涙ぐみながら『此川の主がお母さんを捕たから水を深ひ干して仇を討てやるのです』と云ひました旅僧は此を聞きまして『それは不憫なことぢや其方の手では此川の水は中々汲み干せまいから私が仇は討てあげやう』と仰しやつて此河の岸で御祈禱をなされました所が其の主の鰻の住む淵と云ふ淵の祠穴から大層騷がしくなつて軈て岩の裂ける音がしました旅僧は『さしいんで餘になりました此で宜しい主の鰻は何處へも出られなくなつたから仇を打つたと云ふものだ』と云つて何處へか行てしまひましたさうです其から主の鰻は岩に封じられて 外へ出られなくなつたと云ふことでございます此の旅僧は其頃諸國を遍歷して居た弘法大師だつたと云ふことでございます旅へ出て其の土地その土地の傳説は聞いて居りますが斯様な話を聞くのも興味のあるものでございます一日の旅を了て宿屋につきまして湯殿へ案内されて一風呂浴びて輕い疲を挨と一所に流します心持は旅の樂でございます何處の地へ參りましても湯殿には私共の缺く可からざるものにして居りますミツワ石鹸がございますから浴槽で濡れた皮膚へ此ミツワ石鹸を塗りまして靜かに撫でますと汚垢は此の石鹸の作用で吸はれる様になつて混りますから此をお湯で流しますとするりと落ちて皮膚は清潔になり生々としていい色澤になります。

▲澤村宗之助曰く　此から暑の洗面に、お湯な洗面器へ水道の水をなみ〳〵と湛へまして之へミツワ花の露（オードブラッシ）を四五滴たらしまして洗面しますと水が光沢にはひますから、實に心持よく洗面が出來ます、又外から歸りまして汗ばむ手拭を使ひます時、此にミツワ花の香をつけますと、身體が涼しくさぱ〳〵としますうへに、いゝ芳香が殘つて實にいゝものでございます。

（ミツワ文庫六の八）

京日案内

普通一回金五十錢　番外一回金一圓（但名一行增加し廿字以上の時は料金に拾錢増加す）
▲申込後中止の時は料金返戻せず
▲六回以上の申込は特に割引す
▲回答には必ず返信料を要す
▲御照會の節は必ず廣告番號を記入なさる様

普通

▼外交員二名至急入用　廣告に經驗ある人　本町二　ウツボヤ書籍店　二五二七　436

中古ピアノ出物あり　貸オルガンも有ります　京城本町　ウツボヤ樂器店　電五五七　435

◉求投資家　最有利なる營業共同經營又は合資合名的にても可至急を要す（姓名在社）

◉配達人數名至急募集す希望者は本人來談あれ但し市內確實なる保證人を要す　明治町二丁目　京城新聞部

藥劑師又は藥局生採用す希望者は履歷書送付せらるべし　京城府志南洞一四九　保田正昇　432

◉工場讓渡　將來非常に有望なる製紙工場讓渡し價千六百圓（姓名在社）　425

◉賣宅地　左記所在六百餘坪（讓渡價九百餘圓）價坪一圓分割不苦　西大門外獨立門內東光社裏　丸山

番外

恩給年金立替　即時一月何年分でも特別簡便に御融通可致　京城若草町一白六番　電話三〇一一番　西村商會　438

外勤社員募集　委細面談　地方在住者は履歷書送れ　京城永樂町二丁目　愛國生命保險會社出張所　439

店員入用　十五歳より廿歳迄市內に確實なる保證人を要す（電話一四九二番）　京城本町四丁目　來穀商　佐野屋　433

急募　店員入用　多少算筆の出來る者二名外數名但市內に保證人を要す　希望者來談　仁川新町　津田兄弟屋　384

恩給年金立替　利子格安即時取引　京城若草町一古　短期無保險（金光教東手）　電話二三九一番　國江商會　403

◉鑛物各種分析　京城太平町二丁目二六（電話二八二三）向側入る　松永分析所　418

哲理治療　諸病・病弱に永らく悩める人は邦家の為め一度御實驗を乞ふ　黃金町四ノ三一六番地　至誠堂佐藤

最新刊

◉天然生活法　額田豐博士講評　八五
◉臺灣植物照目錄　一、六〇
◉南洋貿易事情　三、五〇
◉滿洲の經濟　七〇
◉滿蒙經濟要覽　關東都督府編　二、〇〇
野中元三郎著　定價　九〇

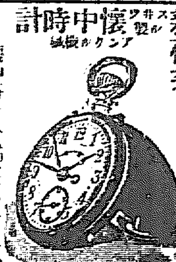
新譯韓非子

◉鐵道會計　佐藤　二、五〇
◉大藏辭要義　第一、二、三卷　各一、八〇
◉全國鐵道沿線名所旅行案內　八五
中村敬宇先生遺文　定價　六五
鐵道旅行案內　鐵道院編　一、二〇

學生及青年の修養良材　作文軌範

◉打翼と要　一、二〇
◉袋　德田秋聲　九〇
◉鎭守の森と盆踊　天野　一、二〇
◉朝鮮金剛山探勝記　一、〇〇
◉日鮮双解辭典　一、五五

大阪屋號書店　京城本町一丁目



新荷著　スイス製　懷中時計　ウオルサム　ウオルサム

懷中時計（▲印はウヲルサム）
腕卷時計

時計、蓄音器、ミシン機、自轉車、洋品各種直輸入商
本店　京城本町二丁目　イングレッソー商會　電話九七二番

何れの家庭にも常備の救急薬

赤十字印　安川ロコダイン

効力非凡なるは一般に定評あり

◎効能　◎腹痛　◎下痢　◎吐瀉　◎食傷　◎氣付　◎暑氣　◎船車醉

◎定價　十錢　廿錢　三十錢　五十錢　一圓

本舗　東京市日本橋區上槇町　安川晃榮堂本店

桃谷研究試驗所製　美顏化粧料各種

最善の品質を維持するため　次の通り値上いたし候

美顏白粉　白色美顏水　美顏ユーマー
美顏洗粉（小）　美顏石鹼（月）　右は一個に付各參錢づゝ値上
美顏白粉（大）　美顏石鹼（花）　美顏洗粉（大）　右は一個に付各貳錢づゝ値上

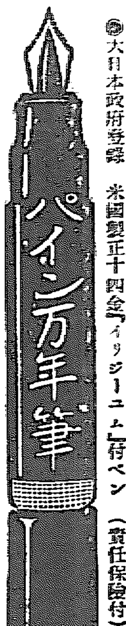
美顏化粧料發賣元　桃谷順天館

ヨクキク　ホシ下痢止　定價10.20.

△急慢性下痢　△胃腸カタル　△吐瀉・腹痛

東京南傳馬町三　星製藥株式會社　各地特約店及藥店にあり

特約店　京城府太平通二丁目三五　キムラ藥房



完全なる設備と老練なる技術者に依る各種萬年筆即時修繕

弊社代理部が幾多萬年筆中より特に選擇せる堅牢無比眞に理想的なる
◎大日本政府登録　米國製正十四金『イリジユーム』付ペン（責任保險付）

東京パイン萬年筆　京城旭町二の六　京城出張所

發賣元　京城太平通一丁目　京城日報代理部　振替京城三〇〇番
販賣所　京城本町二丁目　ウツボヤ書店

疫病多き八九月を

無病に暮すには　食後にゴルフを缺さず

消化を助け悪疫を豫防す

ゴルフはタカヂアスターゼを多量に含む美味の健胃消化錠なり
胃腸病の外虚弱の人、過飲、過食、水あたり、食あたりに不思議な程よくきく

定價　二十錢　四十錢　一圓　全國藥店にあり

東京室町　泰昌製藥株式會社

◉松田式ポンプ　洗濯用　家庭用　ポンプ

御申越次第目錄進呈　朝鮮一手特約販賣　京城本町二丁目　釘本藤次郎商店

山縣五十雄　村上唯吉　共著　富の道しるべ　價十五錢　郵稅二錢　京城太平通京城日報社代理部　振替三〇〇番

釜山商店案內

雜貨卸問屋　月刊商報送呈　釜山大廳町壹　明治屋本店

內外雜貨　鍋釜金物　サクラビール　油石　卸商　近藤商店　釜山本町三丁目　電話長七六八番

商報發行　御問屋　洋菓子洋酒　食料品　東京三河屋　英米直輸入　鮮滿代理店　釜山幸町　ミトヤ商店　MITOYA.CO

內外雜貨卸問屋　釜山本町二丁目　近江屋支店　電話八〇二番　振替京城一三七番

內外雜貨卸問屋　長岡商店　釜山弁天町長手通　電話八三一番

洋酒罐詰卸商　釜山長手通　あづまや商店　振替京城三九番

朝鮮郵船出帆

本社　電話一九五二、二三番
京城支店　電話一一七〇番

◎關門より釜山各地經由雄基行　但し×印あるは江原道各港寄港せず
×京畿丸　九月一日
　忠清丸　八月廿九日
　成鏡丸　八月十九日
×平壤丸　八月廿四日　釜山發

◎元山より各地經由雄基行
　城津丸　八月十九日
　三浦丸　八月廿四日　元山發

◎清津行（元山より城津清津經由）
　平安丸　八月廿二日　元山發

◎元山長箭間
　慶寶丸　八月廿五日
　咸鏡丸　八月二十日
　鏡城丸　八月廿三日　元山發

◎釜山元山間
　慶寶丸　八月廿一日　釜山發
　　　　　八月廿五日　元山發

◎鬱陵島行浦項及各地經由
　至誠丸　八月二十日　釜山發

◎浦項行（長生浦方魚津甘浦九龍浦經由）
　江陵丸
　襄陽丸　毎日　釜山發

◎濟州島行長承浦麗水巨文島經由
　昌平丸　八月十八日　釜山發

◎麗水行（各地經由）
　商州丸　巨濟丸
　統營丸　毎日　釜山發

◎木浦麗水間（麗水にて釜山行接續）
　順天丸
　南陽丸　三日目毎に木浦發

◎木浦より濟州島行各島經由
　東廻　公州丸　八月二十日
　西廻　慶興丸　八月十七日　木浦發

◎多島海各島行
　慶興丸　八月廿二日　木浦發

◎木浦行（群山其他各地經由）
　晉州丸　八月十七日
　麗水丸　八月廿二日　仁川發

◎鎭南浦行（海州其他各地經由）
　宗信丸　八月十七日　仁川發

◎海州行（江華島喬桐島經由）
　全州丸
　錦江丸　毎日　仁川發

◎青島行（芝罘、大連經由）
　江原丸　八月廿一日　仁川發
　但し三十一日は休航

日本郵船仁川出帆

◎大連行、太沽（天津）牛莊行
　相模丸　八月廿八日　正午出帆
　高砂丸　八月廿七日　正午出帆
　三河丸　八月十七日　後十二時出帆
仁川海岸町十一番　電話十二番　回漕部

大阪商船仁川出帆

◎神戸、大阪行
×淡州丸　八月　日
×汕頭丸　八月廿八日　後二時出帆

×◎南浦、神戸、大阪行
　天智丸　八月十九日　後二時出帆

××◎木浦、釜山、嚴原、鄕の浦、長崎行
　安東丸　八月十九日
　安東丸　九月五日　後二時出帆

△×○横濱行
　汕頭丸　八月十七日　後二時出帆
　福州丸　八月　日

×◎南浦行
　濟州丸　八月廿三日　後二時出帆

××◎鎭南浦、大連行
　安東丸　八月卅一日
　安東丸　八月十八日　後二時出帆

◎西湖津新浦城津清津行（元山出帆）
　西湖丸　八月廿七日
　安平丸　八月　日　後十二時出帆

◎清津行（元山出帆）
　宮島丸　九月一日　後十二時出

◎上海、基隆、打狗行（大連出帆）
　湖北丸　八月廿五日　前五時出帆
　基隆丸　九月十一日　後四時出帆

御注意　◎朝鮮鐵道及び南滿洲鐵道會社と船車の連絡切符發賣　◎乘船客は本船出帆約二時間前迄に乘船の事　◎×印は一等客取扱はず　◎△印は船客御斷り

切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二一〇、五五八番
切符發賣所　國通運會社京城支店　電話七〇八番
切符發賣所　仁川京城通り　開東旅館　電話二六一番

商況

下關期米特電

仁川期米

▲十六日後場　▲各地電報未着にて

▲人氣更に強硬

▲稍更に縮少

▲在米更に減少

十七日の十月限